

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
1	基本計画	策定の考え方	公立施設の統廃合や民間移管の計画案はもっと深く検討して欲しい。計画の策定にあたっては保育の現場を知って、守口市民全体が守口の子どもを大切に思い大事に育てていけるような、守口市にとってプラスになるような計画にして欲しい。(30年3か所にこだわらず、市民が不安や不満のないようにできるだけ配慮をして欲しい。)	2	今後、市の子どもの人口が減少していく見込みのなか、従来の規模で公立施設を維持するのではなく、民間の活力を活かしながら、市の施設を集約化していくことで、従来までの公立施設で行っていたサービスに加え、一時預かりや時間外保育、幼稚園部分の3年保育などといったサービスの拡充も行っていく考えです。 市民の皆様が不安を少しでも解消できるよう努めるとともに、上記のようなサービスを一日も早く実施し、守口市が子育てしやすいまちになるよう、計画を進めてまいりたいと思います。	-
2	基本計画	策定の考え方	(この計画は)子どもたちのことを第一に考えていない。	1	今回の計画は、民間の活力を活かしながら待機児童の効果的な解消を図るとともに、子どもたちに1日でも早く良好な環境を確保し、全ての3歳以上の就学前児童に対して幼児教育の機会を用意することを目的としております。	-
3	基本計画	策定の考え方	保育所を減らす方向の守口市は子育てしにくい環境で、結婚しても守口市に住みたいとは思わない。	1	平成27年11月現在、守口市には公私、幼稚園、保育所、認定こども園で36施設ありますが、平成30年度には民間移管や集約化により28施設になります。 今後は保育所や幼稚園等の公共施設の維持管理等に要していた費用を他の子育て支援施策にも活用ことで、市民の皆様が子育てしやすい環境を提供していきたいと考えていますので、ご理解賜りますようよろしくお願いいたします。	-
4	基本計画	計画策定の趣旨	「平成14年以降、民間移管を推進し保育枠の拡大を図り待機児の減少にも一定の効果もあげてきました」とあるが、いっどのように保育枠を拡大できたのか、再び待機児が増加してきたのはなぜかなど、明確にしておかないと計画自体を見誤ることになる。	1	再編整備計画にも記載のあるとおり、民間移管を行い、民間業者が市立保育所時代の老朽化した園舎の建替えを行う際に、定員数を拡大することができました。民間移管した8園のうち最後の園舎建替えが今年度中に終了する見込みです。しかし近年、再び待機児童が増加してきた要因は、保護者の就労形態の変化などで定員数の拡大を上回るペースで保育ニーズが拡大したことと分析しています。	-
5	基本計画	再編にあたっての配慮事項	現行の公立幼稚園の学級定数、公立保育所の保育士の配置基準を維持するとあるが、今の幼稚園、保育所でなぜ今できないのか。既に認定こども園に移行している民間園で定数が30名を超えているところがあると聞いているが、当然そのような状況になったときは、1クラス増やす対応を取るといふことか。	1	これまで、市立施設と私立施設では、配置基準が異なっていたのが現状です。今回の計画では、新たに民間移管する場合又は市立認定こども園に移行する場合には、現在市立施設が維持している学級編成や職員配置に関する基準を維持するよう定めています。このことにより、市立ではその水準を維持し、民間移管先では以前の民間移管時の条件よりもハードルを高くすることによって、教育・保育の質の確保を図る考えです。なお、既に認定こども園に移行している民間施設に対しては、職員の配置基準等は国が定める基準以上とし、現行の市立施設での基準を強制するものではありません。	-
6	基本計画	再編にあたっての配慮事項	4歳児、5歳児は在園する幼稚園、保育所で卒園できるよう配慮とあるが、それは当然のことであって、保育所での3歳以下の保障がないのはなぜか。また、配慮ではなく確約ではないのか。	1	守口市では、少しでも早く子ども達が良好な環境で保育・教育を受けることが出来るよう再編整備計画を策定し、推進していきます。しかしながら、卒園を目的にして転園することとなった際の子どもが受ける環境の変化を考慮し、今回の計画では、4歳児・5歳児については、在園する園で卒園できるよう配慮するとしています。具体的な配慮の内容は、保護者の希望を前提とするなら確約と異なって差し支えないと考えています。	-
7	基本計画	再編にあたっての配慮事項	民間移管に伴う引継ぎや共同保育の際の職員の位置付けや人件費はどうなるのか。	1	他市の状況や今後の職員体制などを総合的に判断して検討していきたいと思っております。	-
8	基本計画	再編にあたっての配慮事項	民間移管に伴い利用者負担は増額すると思うが、公立保育所に通う場合との利用者負担の差額については、どれくらいをどこまで想定しているのか。	1	利用者負担については、民間移管後の経費が市立施設に通った場合に生じる経費を上回る部分について、市が負担する考えですが、対象経費等は今後、私立園の状況などを勘案し、総合的に判断していきたいと考えています。具体的な内容については、今後検討を重ね、お示しさせていただきます。	-
9	基本計画	再編にあたっての配慮事項	職員の研修費用も事業経費に入っているのか。また、どれくらいの金額か。	1	職員の研修費用については、保育教諭に必要な資格取得のための経費も含め、必要となる額を事業経費に算入する考えです。具体的な額については現在検討中です。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
10	基本計画	再編にあたっての配慮事項	障がい児や配慮を必要とする子どもの教育・保育に関する研究等の取組みを継続的に実施するとあるが、具体的にどのようなものか。研究所の形態か、大学の先生を含む体制か、その場合のイニシャルコストはどれほど見積もっているのか。	1	障がい児や発達に遅れのある子どもたちの保育については、まずは市立施設において、保育士はもとより専門的な知識や経験を持った職員の配置を充実これまで行ってきた巡回指導を継続するとともに、わかさ・わかすぎ園から受け入れるお子さんに対する療育の継続という観点からも必要な対策を検討したいと考えています。より具体的な計画や施策については、今後検討してまいります。	-
11	基本計画	基本原則	守口市を3つのエリアに分割するのではなく、東部エリアを2つに分けるべきである。	1	本市では、守口市子ども・子育て会議において有識者等の意見を伺い、平成27年3月に策定した「守口市子ども・子育て支援事業計画」の中で、地理的条件、幹線道路や鉄道路線等交通環境、子どもの人口および教育・保育施設の分布状況等を踏まえて、守口市を東部、中部、南部の3エリアに分割しました。東部エリアの佐太小学校、庭窪小学校区については、平成30年度には市立の教育・保育施設がなくなりませんが、民間の認定こども園が2箇所所在しております。また、市立権保育所の民間移管先には移管時に通園バスの運行を義務づけることによって、この佐太小学校、庭窪小学校区の皆様の足の確保を図りたいと考えております。	-
12	基本計画	基本原則	計画の基本原則に、エリアごとに1つの市立認定こども園とするとあるが、これは民間事業者ありきの原則ではないのか。	1	今回の計画は、民間活力を最大限に活用することを原則としております。しかしながら、各エリアにおいて市立施設の果たすべき役割は今後とも確実に果たすよう、機能強化と体制確保に努める考えです。	-
13	基本計画	基本原則	計画の基本原則に、「市立小学校と一体的な環境を保つように努め、新築により整備する」とあるが、他の地域から来ている園児はどうするのか。全ての小学校の中あるいは隣接して建設すべきではないか。	1	守口市においては、従来から幼稚園や保育所に園区などの考え方はなく、必ずしも小学校区にある保育所や幼稚園に入所または入園はされていません。私立園においても同様です。市立小学校と一体的な環境を保つことで、こども園に通うお子様が少しでも小学校での生活のイメージを持つことができ、また、近い年齢の小学生たちと交流を持つことができる機会を提供していきたいと考えています。また、園児ごとに就学する小学校が異なるので、進学予定の小学校ごとの交流行事を企画するなど、工夫もしていきたいと考えています。また、全ての小学校と一体的な環境を保つよう園を整備すれば、入園されるお子様が各園に分散し、園児数の少ないクラスが出てくる恐れがあります。守口市では、教育委員会から平成21年3月に基本方針にあるように、集団生活や集団教育を行うためには20人以上の学級編成が望ましいと考えているため、今後、全ての小学校の中、あるいは隣接地に園を建設する考えはありません。	-
14	基本計画	基本原則	計画の基本原則では、市立施設は全て認定こども園とするとあるが、なぜか。	1	平成27年11月現在、公立の教育・保育施設は幼稚園5園、保育所11か所の合計16施設あります。再編整備計画では、この16か所ある施設を、本市の教育・保育提供区域ごとに1施設ずつとすることから、幼稚園ニーズのお子様も保育所ニーズのお子様も通園することができる認定こども園とすることとしています。	-
15	基本計画	基本原則	計画の基本原則に「私立保育所並みの延長保育を実施するとあるが現行の保育所ではなぜできないのか。	1	現行の保育所では職員体制の確保等の問題から実施できておりませんが、今後、集約化するにあたり延長保育の実施に向けて具体的に検討してまいります。	-
16	基本計画	基本原則	計画の基本原則に「先進的な調査研究と実践的な場としての役割を果たす」とあるが、園児を実験台として利用するということか。成果はどのように活かすのか、新たな組織を作るのか、成果発表はどうするのか。また、専門家を交えるのか。	1	市立小学校との連携のしやすさが市立施設の魅力の一つだと考えています。大切なお子様を実験台にするという意味ではなく、実際の教育・保育の現場で生じるさまざまな事象や経験をできるだけ早く現場にフィードバックしていくという考えです。積極的に小学校との連携を行い、小1プロブレムの解消などを目的とする取組みを実践していくことで、その方法や研究を私立園と共有し、守口市に住む全ての子どもと達がその成果を享受できるよう努めていきます。具体的な施策については、今後検討しお示しさせていただきます。	-
17	基本計画	質の高さの記述	民間は質が高いというが、計画案には質の高さの具体的な内容についての記載がない。市立の質が低いというのなら、それは管理者の責任ではないのか。	1	民間施設では、実際に多様な教育・保育が工夫を凝らして実践されており、これが保護者にも広く受け入れられていると考えていますが、市立施設の教育・保育の質が低いとは考えておりません。市立施設の良さを評価していただいている保護者の方が多数いらっしゃることも把握していますので、市立施設の良きところは今後の市立施設での教育・保育に活かしてまいりたいと考えています。	-
18	基本計画	待機児童	待機児童を増やすようなことはしないで欲しい。 (待機児童を解消してください。)	19	今回の計画は、民間の活力を活かしながら待機児童の効果的な解消を図るとともに、子どもたちに1日でも早く良好な環境を確保し、すべての3歳児以上の就学前児童に対して、幼児教育の機会を用意することを目的としております。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
19	基本計画	待機児童	待機児童の多い0歳と1歳の入園枠が増える見込みが少ない。地域ごの実態が把握できていない状態で、本当に待機児童を解消できるのか。待機児童の解消のため、校区別の綿密な実態把握と入所受入れ枠、受け入れる保育士の数を計画に入れてほしい。	1	0歳児、1歳児に関しましては、従来の認可保育所、認定こども園だけでなく、小規模保育事業所も活用しながら待機児童の解消を図っていく考えです。	-
20	基本計画	待機児童	待機児童が解消されていない現状で、幼稚園を無くすと待機児童が増える。また、待機児童を減らすためと言っても、継続して通わせる場所がないと待機児童は減らすことはできない。	1	守口市の子どもの人数推計や、民間施設が認定こども園へ移行することで増加する受入れ児童数などの状況を踏まえ、今回の再編整備計画を作成しています。待機児童を減らすことはもとより、将来の子どもたちも含めて、全ての子どもたちがすこやかに育つことができる良好な環境を整えていきたいと考えています。	-
21	基本計画	待機児童	0～2歳児の保育需要の増加が待機児童の増加原因と考えられるので、0～2歳児の保育枠を充実すれば解消できるのではないかと。特に0歳児対策は待機児童解消の決め手であり、これができないと人口流出が起きるのではないかと。	1	ご指摘のとおり、待機児童の解消は3号認定子どもの利用定員、すなわち0～2歳児のための保育枠の確保が重要であると考えています。平成29年度以降は、私立幼稚園の認定こども園への移行及び私立認定こども園の園舎新築などの効果により3号認定子どもの利用定員は大幅に増加する見込みです。本市では、就学前教育・保育の量の確保とともに多様な子育てサービスの充実に取り組み、住み続けたいと思えるまちづくりに取り組んでまいります。	-
22	基本計画	待機児童	待機児童問題を今年度はどう解決していくのか、来年度は待機児童をどうゼロにするのか、当面の対策を講じて、その上で抜本的な対策を講じるのが筋である。	1	待機児童の解消を図ることは最も重要な課題と考えております。その上で、できるだけ早期に守口市の子どもたちに良好な就学前教育・保育のための環境を提供するため、守口市の今後の子どもの人口推移や、民間施設が認定こども園へ移行することで増加する受入れ児童数などの状況を踏まえ、今回の再編整備計画を作成したところで。	-
23	基本計画	0～2歳の教育・保育ニーズ	0～2歳の教育・保育ニーズは増加するのではないかと。総務省の労働力調査では配偶者のいる女性の就業率は増加している。	1	女性の社会進出が進んでいる今日、女性の就業率は増加しており、子どもの人数の減少ほどには、0～2歳の教育・保育ニーズは減少しない可能性があると考えています。	-
24	基本計画	セーフティネット	市立施設は入園を希望する障がい児や配慮を要する子どものセーフティネットとしての役割を十分に果たしてほしい。障がい児にとって手厚い支援を受けることができ、障がい児の親が安心して預けられるのは、公立幼稚園・公立保育所である。	6	障がいなどで配慮の必要な児童の受入れについては、この計画にも記載したとおり、市立施設がセーフティネットとしての役割を果たさなければならないと考えています。今後は市立だけでなく、民間園も合わせて考えていく必要があるため、障がい児加配に対する補助制度の充実を図るとともに、わかさ・わかすぎ園からの園児の受入れに際しては療育の継続といった観点からも必要な対応について検討してまいります。	-
25	基本計画	セーフティネット	新たに民営化されるところや既存の施設においてもセーフティネットの役割が果たされるよう手だてをつくすべきと考える。公立が少なくなるのは反対だが、民間においても保育・障がい児保育等福祉的要素の役割がなくなることはないよう、市としての具体的な対策を希望する。	2	民間移管する園はもちろん、既存の私立施設でも配慮の必要な子どもの受入れをしていただくことが必要です。そのために必要な施設整備や障がい児加配など体制の確保に要する経費については、市が財政支援などを行う必要があると考えています。具体的な施策については、今後検討しお示していきたいと思っております。	-
26	基本計画	セーフティネット	民間の質の高い、敷居の高い取組みについていけない子どもに対して、受入れ枠の拡大や加配職員の増員などセーフティネットとしての公立施設の役割を明確に示してほしい。	1	支援が必要な子どもの受入れについては、加配をつけるなどして、公と民が協力して取り組んでいるところであります。また、配慮や支援を必要とする子どもたちの教育・保育や保護者へのわかり方については、専門的な知識や技術を要することから、保育者の研修の場を設けたり、関係機関との連携強化による体制の充実を図っていきます。なお、今回のパブリックコメントを受けて、市立施設の役割の項目にわかさ・わかすぎ園からの受入れに際して、療育の継続といった観点からの市立施設での取組みについて計画に盛り込んだところであります。	5. 市立施設の役割の項に、「わかさ・わかすぎ園から障がい児や発達に遅れのある子どもの受入れにあたっては、一人一人の状況とそれまで続けてきた療育も考慮した教育・保育を行う必要があることから、療育に関して専門的な知識、経験を有する職員やこれらの職員による巡回指導のさらなる充実を図り、研修等を通じて職員のスキルアップに努めます。」を追加。
27	基本計画	セーフティネット	私立では受入れの難しい重度障がいのある子どもの受入れを市立施設が積極的に行うなどセーフティネットとして役割を充実してほしい。	1	障がいがあるお父さんや配慮が必要なお父さんが民間施設を利用しやすい環境づくりを行うことを前提として、民間施設で対応しきれない場合のセーフティネットとしての役割については、引き続き果たしてまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
28	基本計画	セーフティネット	「特別な支援が必要な子どものセーフティネットは市立施設に期待される」とあるが、私立では受け入れてもらえないのか。公立施設だけに受入れを期待するなら、健常児の受入れ枠の保障はできるのか。	1	私立でも当然受入れは可能で、今現在でも特別な支援が必要な子どもの受入れをおこなっています。今回の計画では、市立施設の集約化を図るため障がい児も健常児も、これまでどおりの受入れ枠の確保はできませんが、私立ではどうしても受入れができないような場合には、公立施設がセーフティネットの役割を果たす必要があると考えています。	-
29	基本計画	審議会の答申	修正案は、すこやか幼児審議会の答申を無視した内容になっている。審議会の答申というのは、関係者などから意見を聴いて原案を補強調整するものではないのか。市長が選んだ審議会委員の答申を尊重するべきだと思う。	3	答申では、「市立幼稚園及び市立保育所の集約化、民間移管及び認定こども園への移行を進めていこうとする趣旨については、他に異なる意見もあるが概ね了とするものである」とされる一方、各委員から出された意見が列挙された25項目の個別項目が示されました。できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、答申の全てを修正案に反映することはできませんでしたが、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備をすすめてまいります。	-
30	基本計画	審議会での保護者意見	審議会での保護者の意見はもっともだと思います。修正案にはその保護者に意見が反映されているとは思えません。	1		-
31	基本計画	市民の声	計画は市長が独断で決めることなく、市民の声を十分に聞いて考えて欲しい。疑問や不満を持つ人がたくさんいる。十分な議論もせず、納得いかない形で認定こども園への移行を進めるのはおかしい。進め方が非常に強引だと感じる。一応市民の声を聞きまじましたよというアリバイ作りだけにしないで欲しい。	4	すこやか幼児審議会において、市民公募を実施し、再編整備基本計画の保護者向け説明会を実施するなどしてまいりました。また、今回パブリックコメントを30日間実施し広くご意見を募ったところです。	-
32	基本計画	3つの要望	①再編整備の基本計画案の廃止 ②現在の在園児を大宮保育所から卒園させる ③現在の在園児を全員で新しい園へ移動させる 以上、大宮保育所の説明会で出した3つの要望に対しての市長から回答をもらいたい。	1	公立と私立の施設の現状と今後の児童数の推移などを踏まえて、見直さざるを得ないと総合的に判断をして、今回の再編計画を策定しました。また、大宮保育所については当初の案から1年間、閉園・民間移管の時期を延期し、在園児の保護者の皆様や地域の皆様へのご説明に努めてまいりますので、なにとぞご理解の程よろしくお願いたします。	-
33	基本計画	反対	今回の基本計画は、保育所を利用している家庭への負担が許容範囲を超えている。未就学児の保育・教育環境まで切り込まれるというのは納得できない。働く世代に負担を強いる、将来を担う子どもたちを混乱させる計画は市民のためになるのか、甚だ疑問である。	1	公立と民間の施設の現状と今後の児童数の推移などを踏まえて、見直さざるを得ないと総合的に判断をして、今回の再編計画を策定しましたのでご理解の程よろしくお願いたします。	-
34	基本計画	反対	公立幼稚園と公立保育所の再編・廃園に反対です。 (待機児童が増えるので合併するのは反対。)	2	待機児童の解消を図ることは最も重要な課題と考えております。その上で、できるだけ早期に守口市の子どもたちに良好な就学前教育・保育のための環境を提供するため、守口市の今後の子ども数の人数推移や、民間施設が認定こども園へ移行することで増加する受入れ児童数などの状況を踏まえ、今回の再編整備計画を作成したところです。	-
35	基本計画	地域拠点施設	(6)在宅子育て家庭を支える地域の拠点としての高度多機能化で、0～2歳の在宅の子どもたちとその保護者へのさまざまな支援とあるが、園で新たな人員をとってあたるといことで、具体的にどういうサポートを検討されているのか。私立幼稚園でされているプレ教室のようなものでしょうか。保健センターでは0～2歳の子育て支援事業をしているが、そことの違いは、あるいは連携はどうしていくのか。	1	今回の再編整備計画については、今後の方向性を示しているものですので、具体的な方法などはこれから検討していきますが、現時点では、各市立認定こども園に配置する子育て支援に従事する職員が、在園児以外の児童の保護者のうち養育支援が必要な方へのサポートに直接当たる方法について検討しています。市民保健センターで行っている子育て支援事業などと一部重なる部分があると考えますが、重層的に支援の網を確保することで、よりきめ細かな対応を通じて子どもたちの最善の利益を守りたいと考えています。	-
36	基本計画	民間移管(引継ぎ)	移管後は一定期間、事業者及び本市職員による共同保育を行うとあるが、期間を区切らずに永続的に保育現場の状況を共同把握してほしい。(特に障がい児や配慮を必要とする子どもには、専門職との定期的な状況把握が不可欠。)	1	民間移管後には、共同保育の終了後もあらゆる機会を活用して状況把握に努め、民間による運営の優れた点に学ぶとともに、改善すべき点が見られた場合には指導監督を行ってまいります。支援が必要な子どもの保育については、現在も、臨床心理士による巡回指導など公と民が協力して取り組んでいるところですが、今後もこの取組みは継続してまいります。また、市立施設においては、より専門的な知識や経験を持つ職員の配置や職員研修の充実に努めるとともに、わかさ・わかすぎ園から入園されるお子さまに対する療育の継続という観点から、必要となる対応について実施に向けて検討してまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
37	基本計画	民間移管(質の維持)	民間事業者への障がい児や配慮を必要とする子どもの教育・保育に関する研究等の取組みへの義務化や市との情報共有などを明記してほしい。	1	障がい児や配慮の必要な児童の受入れについては、公立施設と民間施設が力を合わせて実施していくべきであると考えております。研究等の取組みへの参加の義務化については、今後検討していきたいと考えています。また、障がい児や配慮の必要な児童に関する市と民間事業者との情報共有は、個人情報取扱に十分に配慮しながら今後とも進めてまいりたいと考えていますが、保護者の理解や提供に関する理解など一定の課題もあることから、民間事業者や市民保健センター、わかくさ・わかすぎ園などの関係機関の担当者とともに多角的な視点から検討していきたいと考えています。	-
38	基本計画	民間事業者への財政支援	民間事業者への財政支援は、どの程度の規模になるのか。	1	今回の再編整備計画については、今後の方向性を示しているものですので、具体的な方法、財政支援の規模などは予算の編成過程で決定されますので、決定次第お知らせいたします。	-
39	基本計画	新制度との関係	「平成27年度からスタートする子ども・子育て支援新制度を積極的に運用することを前提として…策定する。」とあるが、新制度がスタートしなかったら、再編整備は行わなかったのか。	1	新制度がスタートしていなかったとしても、幼稚園、保育所の集約化の必要性はあったと考えています。	-
40	基本計画	人口減少への対策	守口市では人口減少に歯止めをかける対策は講じないのか。もし講じないのであれば、計画にある認定こども園すら集約化していく時が来るのではないのか。	1	守口市では第五次守口市総合計画をもとに教育や子育て支援に関する様々な施策を講じ、人口減少の抑止に努めてまいります。市立認定こども園の将来のあり方については、守口市の人口動向や民間施設での教育・保育の状況を注視する必要がありますが、市立施設としての役割は引き続き果たしていく考えです。	-
41	基本計画	その他	計画を立てる際には、子どもと毎日向き合い、毎日送り迎えしている現状を踏まえ、守口市すこやか幼児審議会でも指摘されているような問題点について1つずつ丁寧に考えてほしい。また、認定こども園化するにあたって、保育所と幼稚園の子どもの生活リズムの違い、昼寝の有無、夏休みの有無や長さ、不公平感についても考えてほしい。	1	現在本市では、市立幼稚園や市立保育所に勤務するベテラン職員と事務を担当する職員で市立認定こども園のあり方を検討するプロジェクトチーム(PT)を編成し、幼稚園と保育所の違いや、教育・保育の考え方や方法の整理、行事や保護者への対応などについて検討を重ねているところです。今後、PTでの意見や、他の自治体の事例も参考に、こどもへの影響を最大限考慮し市立認定こども園の運営で実施する教育・保育の姿をお示しまいります。	-
42	再編整備	障がい児の選択肢	障がいのある子どもにとって、公立幼稚園は絶対必要なので、減らさないでほしい。なぜなら、公立施設が減ると、今までわかくさ・わかすぎ園から公立幼稚園や保育所への転園を経て小学校へあがらせていた方たちが、わかくさ・わかすぎ園から直接小学校へあがらせるとい選択をするしなくなると思う。そうすると、わかくさ・わかすぎ園の枠も狭まり、本当に療育の必要な子どもがわかくさ・わかすぎ園に入れなくなるのではないのでしょうか。そういったことも踏まえて検討して欲しい。	2	市では、すこやか幼児審議会の答申を踏まえて、加配に関する補助制度の充実を図るとともに、民間事業者の皆さんと連携し、障がいのあるお子さんや配慮の必要なお子さんに対する教育・保育に必要な条件設備について検討します。なお、今回のパブリックコメントを受けて、市立施設の役割の項目にわかくさ・わかすぎ園からの受入れに際して、療育の継続といった観点からの市立施設での取組みについて計画に盛り込んだところです。	5. 市立施設の役割の項に、「わかくさ・わかすぎ園から障がい児や発達に遅れのある子どもの受入れにあたっては、一人一人の状況とそれまで続けてきた療育も考慮した教育・保育を行う必要があることから、療育に関して専門的な知識、経験を有する職員の配置やこれらの職員による巡回指導のさらなる充実を図り、研修等を通じて職員のスキルアップに努めます。」を追加。
43	再編整備	障がい児(公私格差なしに)	障がいのある子どもはわかくさ・わかすぎ園と保育所を並行して通園していることもある。私立の園では障がいがあるからといって入園を断られたこともあると聞いた。公立施設が民間移管されるとますます障がいのある子どもの入園先が少なくなるのではないのか。また、私立に入園できたとしても加配などの補助はしっかりと行ってほしい。	1	障がいのあるお子さんの受入れについては、私立施設に対して一層の理解と協力を求めています。また、市では、すこやか幼児審議会の答申を踏まえて、加配に関する補助制度の充実を図るとともに、民間事業者の皆さんと連携し、障がいのあるお子さんや配慮の必要なお子さんに対する教育・保育に必要な条件設備について検討します。なお、今回のパブリックコメントを受けて、市立施設の役割の項目にわかくさ・わかすぎ園からの受入れに際して、療育の継続といった観点からの市立施設での取組みについて計画に盛り込んだところです。	5. 市立施設の役割の項に、「わかくさ・わかすぎ園から障がい児や発達に遅れのある子どもの受入れにあたっては、一人一人の状況とそれまで続けてきた療育も考慮した教育・保育を行う必要があることから、療育に関して専門的な知識、経験を有する職員の配置やこれらの職員による巡回指導のさらなる充実を図り、研修等を通じて職員のスキルアップに努めます。」を追加。
44	再編整備	障がい児の受入れ	私立では受入れ環境が整っていない現状も改善してほしい。	82	保育卒のお子さんについては、施設側には原則として応諾義務が課されておりますので、ご指摘のような場合には私立施設に対して一層の理解と協力を求めてまいります。市では、すこやか幼児審議会の答申を踏まえて、加配に関する補助制度の充実を図るとともに、民間事業者の皆さんと連携し、障がいのあるお子さんや配慮の必要なお子さんに対する教育・保育に必要な条件設備について検討します。	-
45	再編整備	障がい児の受入れ	支援の必要な子どもが、どの保育施設に通っていても同じ水準の支援が受けられるような施策・予算措置を行ってほしい。	1	障がい児の受入れの拡充など市立施設の集約化に伴う今後の課題にも民間事業者による対応が円滑に進むよう、財政支援も含め必要な環境設備にも努めていきます。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
46	再編整備	障がい児の受入れ	重度障がいなど特別な支援が必要な子どもを支援できる人を育ててほしい。そのためには、私立にも特別支援を担ってもらうための助成金も必要だが、市は定期的な研修を実施し、その参加を全ての園に義務づけてほしい。支援が必要な子どもへの適切な対応は、特別な支援を必要としない子どもにとっても良い影響を与えます。	1	支援が必要な子どもの受入れについては、加配をつけるなどして、公と民が協力して取り組んでいるところですが、また、配慮や支援が必要な必要とする子どもの教育・保育や保護者へのかかり方には、専門的な知識や技術を要することから、保育者の研修の場を設けたり、関係機関との連携強化による体制の充実を図っていきます。	-
47	再編整備	障がい児の受入れ	理学療法・作業療法・言語・音楽などの療育の先生を保育施設に派遣し、加配の保育士や保護者と一緒に支援が必要な子どものリハビリを行ったり、リハビリ後に療育の先生からの話を聞くなど、子どもにとって何が必要かを家庭と保育施設で共通認識が持てるよう、また、子どもへの接し方などを保育士も学ぶことができるよう、市立・私立関係なく、保育施設を総合的な療育を行える場にしてほしい。	1	いただいたご意見をもとに、公立・私立の垣根を越えて、守口市の子どものためになるような事業を検討していきます。 なお、今回のパブリックコメントを受けて、市立施設の役割の項目にわかき・わかき園からの受入れに際して、療育の継続といった観点からの市立施設での取組みについて計画に盛り込んだところです。	5. 市立施設の役割の項に、「わかき・わかき園から障がい児や発達に遅れのある子どもの受入れにあたっては、一人一人の状況とそれまで続けてきた療育も考慮した教育・保育を行う必要があることから、療育に関して専門的な知識、経験を有する職員の配置やこれらの職員による巡回指導のさらなる充実を図り、研修等を通じて職員のスキルアップに努めます。」を追加
48	再編整備	障がい児の受入れ	公立施設の民間移管によって、障がいを持つ子どもや発達遅れ等の理由で特別な支援が必要な子どもの受入れ先がなくなり、取り残されるのではないかと。	1	障がいがあるお子さんや配慮が必要なお子さんが民間施設を利用しやすい環境づくりを行うことを前提として、民間施設で対応しきれない場合のセーフティネットとしての役割については、引き続き果たしてまいります。	-
49	再編整備	再考	入所した児童は、卒園までを見通して日々保育をしている。しかし今回の計画では、途中で切られ、子どもたちや保護者を不安に陥れるものである。少子化がどんどん進行している中、子育て環境を悪くしているのは再検討して欲しい。再編整備にあたって、地域に密着している公立幼稚園の良さを改めて考えてほしい。公立幼稚園の園児数がなぜ定員数に満たないのか理由も改めて考えてほしい。	2	再編整備計画を実施していくにあたっては、子どもや保護者の不安を少しでも解消できるよう、説明会の開催や子どもへのストレスへの対応などを行って行きたいと思えます。 公立幼稚園の良さは、認定こども園になっても引き続き継承していきたいと思えます。また、従来から保護者の方から要望の多かった幼児教育における3年保育や預かり保育といったサービスについても、認定こども園に移行後実施していきたいと考えています。	-
50	再編整備	再考	公立施設の果たすべき役割を認識していただいて、様々な観点から検討していただきたいです。	1	再編整備計画にも記載のあるとおり、重度障害など特別な支援が必要な子どものセーフティネットとしての役割、就学前教育の充実と小学校との円滑な接続のための取組み、保護者からのニーズには限られているものの必要性の高いとされる休日保育事業や病児保育などの保育サービス、年度途中からの保育ニーズの受入れ、在宅子育て家庭への支援などの役割は、今後とも市立施設が果たしていくべき役割であると考えています。今後も守口市全体の教育・保育の質の向上を図っていくなかで必要な施策について、様々な観点から検討を重ねてまいりたいと考えています。	-
51	再編整備	市民の財産	公立幼稚園・公立保育所という守口市の財産を、無料で民間に引き渡すのは納得できません。市民の財産をなくさないでほしい。	2	公立施設の維持管理は、市民の皆様からお預かりしている税金で行うこととなります。市立施設の再編とこれに伴う民間移管により生み出す財源を用いて、これまで手を付けてこなかった他の子育て支援施策の充実を図ることで、今後、守口市がさらに子育てしやすい街になるよう努めてまいりたいと思えます。	-
52	再編整備	箇所数	「認定こども園としての新たな機能として、保護者のニーズに応えます」とあるが、現在、幼稚園5園、保育所11園の合計16園あるところから、市立認定こども園が市内3か所になると、距離が遠くて通えない人もいます。各エリアに公立認定こども園1園と限定せず、地域の事情を踏まえ、公立認定こども園の整備を考えて欲しい。市立認定こども園を3か所と限定せず、公民館の設置も検討している時期なので、候補地を増やして検討してもらいたい。	8	本市では、守口市子ども・子育て会議において有識者等の意見を伺い、平成27年3月に策定した「守口市子ども・子育て支援事業計画」の中で、地理的条件、幹線道路や鉄道路線等交通環境、子どもの人口および教育・保育施設の分布状況等を踏まえて、守口市を東部、中部、南部の3エリアに分割しました。東部エリアの佐太小学校、庭窪小学校区については、平成30年度には市立の教育・保育施設がなくなりますが、民間の認定こども園が2か所所在しております。また、市立掘保育所の民間移管先には移管時に通園バスの運行を義務づけることにより、この佐太小学校、庭窪小学校区の皆様への足の確保を図りたいと考えております。以上のことから、各エリアにおける市立施設の増加は考えておりません。	-
53	再編整備	箇所数	公立が3園というのは少ないのではないかと。市立施設を3エリアに各1園設置するところがある、なぜ1園に決める必要があるのか。地域の事情を踏まえ、公立認定こども園の整備を考えて欲しい。最低、各エリアに2園以上は残してほしい。	133		-
54	再編整備	箇所数	市立施設を3か所に集約し、認定こども園にする事は、待機児童が増えることにつながる。3か所にするのではなく保育所、幼稚園も何園か残す方が、待機児童をなくすのに良いと思う。	1	今後の子どもの数の推計、市内の私立施設の認定こども園への移行予定と利用定員の設定見込みなどをもとに、3つの市立認定こども園に集約する今回の再編整備計画を策定しました。ただし、子どもの数が急激に変化したり、認定こども園への移行状況や利用定員の設定に大きな変動が見込まれ、現計画をそのまま進めることで大きな支障が生じることが明らか場合には、再編整備計画の見直しも含めて必要な対応を講じてまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
55	再編整備	箇所数	教育を受ける権利を平等に保障するために、市立施設をもっと残してほしい。	82	幼稚園の保育料はこれまで公立と私立で大きな差がありましたが、平成27年度からの子ども・子育て支援新制度の施行にあわせて、守口市では認定こども園の幼児教育枠(1号認定)に通うお父さんの保育料を公立も私立も、3歳児で最高15,700円、4歳児、5歳児で最高11,000円に抑えたとえて、共通化しました。また、認定こども園に移行前の私学幼稚園に通う場合でも原則認定こども園に通う場合と同水準の保育料にするために市独自の保護者補助金の拡充を実施し、幼児教育を受けていただく機会の拡充に努めています。公立の認定こども園の箇所数については、児童数の推移や、民間施設の認定こども園への移行や施設整備等による利用定員の増加などを考慮し、各エリア1つとしたものです。	-
56	再編整備	箇所数	幼稚園や保育所が減ると働きたくても預けるところがなくなる。親は選択肢がないので困っている。	2	今回の再編計画は、待機児童の解消を前提として私立施設の集約化を図る考えです。今後は、公立だけではなく私立認定こども園や私立保育所、小規模保育事業所を含めた多様な施設の中から利用する施設を選択していただくことをお願いすることになりますので、ご理解ください。	-
57	再編整備	箇所数	小学校との連携を考えると、小学校区の中であれば、小学校区の中での公立の認定こども園・幼稚園・保育所は、地域の子どもたちが一緒に通えるだけの数・配置が必要だと考える。	1	小学校との連携を考えると、ご指摘のように小学校区ごとに施設が存在する状況が理想的かもしれませんが、しかしながら、今後ますます少子化が進むことが予想される中、そのような施設配置は1施設当たりの子どもの数が少なくなり、また、効率的な運営も難しくなります。市立施設の集約を行う以上、これまでどおり小学校との連携を高い水準で維持するためには、例えば進学する小学校ごとに園児の訪問先や行事の連携先を設定するなど、さらなる工夫が必要になると考えます。集約化の影響が小学校との連携に悪い影響を与えないよう、連携方法について十分に検討してまいります。	-
58	再編整備	箇所数	徒歩通園圏を考えるなら、大日・鹿窪・佐太エリアに市立幼稚園・市立保育所は残すべきである。東部エリアを2つのエリアに分けた4つのエリアに、少なくとも最低1つの市立幼稚園及び市立保育所を残すべきである。	2	本市では、守口市子ども・子育て会議において有識者等の意見を伺い、平成27年3月に策定した「守口市子ども・子育て支援事業計画」の中で、地理的条件、幹線道路や鉄道路線等交通環境、子どもの人口および教育・保育施設の分布状況等を踏まえて、守口市を東部、中部、南部の3エリアに分割しました。東部エリアの佐太小学校、鹿窪小学校区については、平成30年度には市立の教育・保育施設がなくなりますが、民間の認定こども園が2箇所所在しております。また、市立保育所の民間移管先には移管時に通園バスの運行を義務づけることによって、この佐太小学校、鹿窪小学校区の皆様への確保を図りたいと考えております。今後は、市立施設は3か所に集約しますが、通われる園を選ばれる際には公立だけでなく、充実した教育・保育を提供している私立施設も含めてご検討くださいますようお願い申し上げます。	-
59	再編整備	認可保育所の増加	基本的にこの計画は就労する親の願いに応えていない。待機児童が増加する中で廃園することはとんでもないことだ。子ども達の未来のため、廃園ではなく認可保育所を増やしてほしい。	1	公立と民間の施設の現状と今後の児童数の推移などを踏まえて、現在の市立施設の箇所数を維持し続けることは適切でないとの総合的に判断し、今回の再編計画を策定しました。市立施設の箇所数は減りますが、サービスは拡充し保護者の皆様のニーズに応えていきたいと考えています。	-
60	再編整備	移行時期	現在も待機児童が28名存在し、年度末にかけて増加するとも聞く、時に東部エリアは解消が難しく児童数の減少にも関わらず待機児童数が横ばいなら保育ニーズは増加していると考えべきである。平成30年3月までに再編を終わらせるのではなく、長い目で見ながら修正する姿勢が必要である。	1	今後の子どもの数の推計、市内の私立施設の認定こども園への移行予定と利用定員の設定見込みなどをと、3つの市立認定こども園に集約する今回の再編整備計画を策定しました。ただし、子どもの数が急激に変化したり、認定こども園への移行状況や利用定員の設定に大きな変動が見込まれ、現計画をそのまま進めることで大きな支障が生じることが明らかな場合には、再編整備計画の見直しも含めて必要な対応を講じてまいります。	-
61	再編整備	移行時期	公立施設の認定こども園への移行については、十分に議論し、拙速に進めないで欲しい。	25	認定こども園には、保護者の就労状況によらず通園できるメリットのほか、経済的な点でも保育所にはない特性があります。市民の皆さんが認定こども園の利点を少しでも早く活用していただけるよう、市立施設の認定こども園への早期移行を進める考えです。認定こども園のあり方については、幼稚園、保育所双方の現場をよく知る職員とともに、子どもたちのためにどのような教育・保育を行うべきかという観点を最優先に、議論・検討を進めていきたいと考えています。	-
62	再編整備	移行時期	市立認定こども園への移行を含めた統廃合について、全地域で一度に進めるのは運営面・安全面・教育面すべてにおいて不安が残る時期尚早だと思います。まずは1つの地域で認定こども園の運営を行い、問題点を整理し改善してから他の地域も段階的に移行していくほうがいいと思います。	1	市立施設の統廃合、民間移管を実施するに際しては、教育・保育を必要とする児童数の推移や私立幼稚園などの認定こども園への移行状況と利用定員の設定状況などを慎重に検討し、子どもたちや保護者の皆様、またこれから子育てを始めようとする市民の皆様への影響を最小限にとどめるよう、細心の注意を払いながら進めてまいります。また、民間移管に当たって移管方法や移管対象法人等の選定などに関する基本方針を定める際には、パブリックコメントを実施し、市民の皆様にも市の方針を周知するとともに、広くご意見をいただくとともに、民間移管先を選定する諮問機関には学識経験者のほか、市民のご代表にも参加していただき保護者としての観点からご審議いただく予定です。このように行政だけで進めるのではなく、市民の皆様とともに取り組んでまいりたいと考えておりますので、なにとぞご理解賜りますようお願いいたします。	-
63	再編整備	移行時期	あおぞら保育所が認定こども園になるのが早すぎる。隣に統合小学校が開校する平成30年ではないか。あおぞら保育所の認定こども園化は平成29年度以降にすること。	2	認定こども園には、保護者の就労状況によらず通園できるメリットのほか、経済的な点でも保育所にはない特性があります。市民の皆さんが認定こども園の利点を少しでも早く活用していただけるよう、市立施設の認定こども園への早期移行を進める考えです。認定こども園のあり方については、幼稚園、保育所双方の現場をよく知る職員とともに、子どもたちのためにどのような教育・保育を行うべきかという観点を最優先に、議論・検討を進めていきたいと考えていますので、ご理解賜りますようお願いいたします。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
64	再編整備	移行時期	閉園については、児童数等の推移を注視し、時期を見直すこと。	1	できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備をすすめてまいります。また、市内に計20施設ある私立幼稚園及び私立保育所は、そのうち既に11施設が認定こども園に移行しました。その他の園も平成29年度までにその多くが認定こども園に移行する予定であり、これまで幼稚園であった園では新たに保育枠を設け、これまで保育所であった園では新たに幼児教育枠が設けられます。さらに、従来認可外保育施設だった施設のうち8施設が市条例の基準を満たす小規模型保育事業所に移行し、0歳から2歳までの保育枠が増加しています。市では、これらの状況も踏まえ市立施設の再編に取り組んでいます。	-
65	再編整備	移行時期	認定こども園で1号認定と2号認定のカリキュラム、三季休暇の対応、土曜日の保育について明記されていない状況では、認定こども園の評価ができない。課題の解決がなされない段階での移行は拙速である。	1	認定こども園のあり方については、幼稚園、保育所双方の現場をよく知る職員とともに、子どもたちのためにどのような教育・保育を行うべきかという観点を最優先に、議論・検討を進めていきたいと考えていますので、ご理解賜りますようお願いいたします。なお、移行後に課題が生じた場合には、ただちにその改善に取り組みます。	-
66	再編整備	移行時期	平成30年度までに民間移管を5園と公立を3園にするということだが、市民がどれだけ公立施設への入園希望があるかどうかをみてから、段階的に実施しても遅くないと思う。	1	今後の子どもの数の推計、市内の私立施設の認定こども園への移行予定と利用定員の設定見込みなどをもとに、3つの市立認定こども園に集約する今回の再編整備計画を策定しました。ただし、子どもの数が急激に変化したたり、認定こども園への移行状況や利用定員の設定に大きな変動が見込まれ、現計画をそのまま進めることで大きな支障が生じることが明らか場合には、再編整備計画の見直しも含めて必要な対応を講じてまいります。これまでの実績では、私立認定こども園や私立保育所を選択される保護者が、公立保育所よりも多くなっているのが実情です。しかしながら、公立の良さを評価していただいている方もたくさんおられるという実態も把握しておりますので、再編整備に当たってはその点を十分に踏まえて実施していきたいと考えております。	-
67	再編整備	移行時期	統廃合と認定こども園への移行を同時に行うことは、混乱を更に招くだけなので、認定こども園への移行については別に計画を作り、十分な準備期間を設けて行うべきである。市民は認定こども園について十分に把握できていない。	83	認定こども園には、保護者の就労状況によらず通園できるメリットのほか、経済的な点でも保育所にはない特性があります。市民の皆さんが認定こども園の利点を少しでも早く活用していただけるよう、市立施設の認定こども園への早期移行を進める考えです。認定こども園のあり方については、幼稚園、保育所双方の現場をよく知る職員とともに、子どもたちのためにどのような教育・保育を行うべきかという観点を最優先に、議論・検討を進めていきたいと考えていますので、ご理解賜りますようお願いいたします。なお、移行後に課題が生じた場合には、ただちにその改善に取り組みます。今後は、認定こども園での教育・保育について市民の皆さんへの一層の周知に努めてまいります。	-
68	再編整備	移行時期 (認定こども園)	現在、国内で認定こども園への移行は進んでおらず、なかには認定こども園から元の施設に戻った施設もある。全国的にも問題を解決できていない認定こども園に、なぜ民間移管と同時期に移行する必要があるのか。さまざまな問題が解決していない現状では、無謀であり、更なる混乱や子どもへの悪影響が生じる可能性が高い。認定こども園への移行については、別の計画として綿密に計画し、問題を解決できた時点から認定こども園への移行を開始するべきではないか。認定こども園への移行の無期限の延期を求めます。	5	本市が再編計画を公表したのは今年7月でした。したがって現在在園しておられる児童の保護者の皆様には、ご説明できておらず、大変申し訳なく思っております。計画はすこやかに幼児審議会での議論や答申を踏まえ、佐太保育所及び大宮保育所の統合時期を延伸し、またとうだ幼稚園及びやくも幼稚園の閉園時期も延伸し、少しでも影響を少なくするよう修正もいたしました。しかしながら、できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備を早期に実施してまいりたいと考えております。	-
69	再編整備	卒園保証、 保護者への説明不足	保育所、幼稚園への入園説明の際に再編整備計画の説明は全くなかった。また、計画の内容も環境の著しい変化による保護者の不安と子ども達への影響は計り知れない。計画の着工や完了時期について、市の勝手な「都合・タイミング・ついて」で行うのではなく、当事者となる保護者・子どもたちへの影響が最小限となるよう、廃園及び統廃合は、最低限現時点の在園児が全て卒園した後に行うべきである。	5	市民保健センターや子育て支援課などとの連携や、養育支援については、市立認定こども園や民間移管を行った園の通園児童はもちろん、他の私立施設の通園児童に対しても必要と考えています。市立認定こども園では、地域の子育て支援機能を強化し、養育支援を必要とするご家庭へのサポートや在園児以外のご課程からの子育て相談機能などを充実し、地域での子育て支援拠点として高度多機能化を目指すこととしています。民間移管に当たっては、市立幼稚園や市立保育所でこれまで行ってきた1学級当たりの園児数や保育に従事する職員配置といった園の基準よりも市が高く設定して実施してきた水準を継続することを移管条件として設定し、民間移管によって賃の低下を招かないよう措置します。また、お盆休みなど開所しない日の設定については、民間移管時に他のさまざまな運営のあり方とともに移管条件としてどのように設定するかについて民間移管基本方針を策定後、パブリックコメントを実施し、市民の皆様をはじめ広くご意見を伺った中で決定してまいります。なお、年末年始は、市立施設では従来から開所しておりません。	-
70	再編整備	民間移管 (質の維持)	基本計画には、あらゆる点で民間移管したほうがメリットが大きいに記載されていますが、保健センターや子育て支援課などとの連携や養育支援家庭へのサポートなど公立のほうが質が高いと感じることもある。民間移管により保育サービスの質が落ち、不利益を被らないようにして欲しい。お盆や年末年始なども今までどおり預かってもらいたい。	5	市民保健センターや子育て支援課などとの連携や、養育支援については、市立認定こども園や民間移管を行った園の通園児童はもちろん、他の私立施設の通園児童に対しても必要と考えています。市立認定こども園では、地域の子育て支援機能を強化し、養育支援を必要とするご家庭へのサポートや在園児以外のご課程からの子育て相談機能などを充実し、地域での子育て支援拠点として高度多機能化を目指すこととしています。民間移管に当たっては、市立幼稚園や市立保育所でこれまで行ってきた1学級当たりの園児数や保育に従事する職員配置といった園の基準よりも市が高く設定して実施してきた水準を継続することを移管条件として設定し、民間移管によって賃の低下を招かないよう措置します。また、お盆休みなど開所しない日の設定については、民間移管時に他のさまざまな運営のあり方とともに移管条件としてどのように設定するかについて民間移管基本方針を策定後、パブリックコメントを実施し、市民の皆様をはじめ広くご意見を伺った中で決定してまいります。なお、年末年始は、市立施設では従来から開所しておりません。	-
71	再編整備	民間移管 (人権意識)	民間移管をするのであれば、私立の職員にも市としての考え方や人権啓発などの研修を、今まで以上に進めていくことが大切なのではないか。	1	今後は、私立施設に勤務する保育教諭や保育士又は教諭が参加できる研修の機会の充実を検討してまいります。	-
72	再編整備	民間移管 (必要性)	子どもの生活と環境、保護者の不安を考慮すると、市立施設を一度に民間移管する必要があるのか。再編整備に伴う梶保育所の民間移管について、梶保育所の在園児や入園希望児について、その地域の小規模保育事業所や認定こども園となる予定の百合台幼稚園では、園児枠を確保することはできないのか。本当に民間移管が必要なのか。	6	東部エリアには、市立施設が計8箇所ありますが、再編整備計画では市立施設は1か所に集約化する予定です。市の副都心としての大日地区と近接しながら、梶保育所は現在2歳児からの保育を行っています。私立認定こども園に移管し、園舎を新築すること0歳、1歳を加え利用定員の充実が考えられます。市立施設として園舎の新築を行う場合に比較して民間での整備は大幅に市の負担を減らすことができます。このことで生み出せる財源を用いて多様な子育て支援を展開し、子育て世代にとって住みやすいまちづくりを進めたいと考えています。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
73	再編整備	民間移管 (反対)	子育てを民間に丸投げしているように思う。市の教育理念はないのか。	1	市では再編整備計画により、16か所ある施設を3つの市立認定こども園に集約化することとしておりますが、子育てを民間に丸投げするのではなく、民間事業者とともに手を携えて守口市の就学前教育・保育に当たっていきたくと考えております。今後、市立認定こども園としての姿や民間移管時の条件設定、民間事業者への補助金のあり方など、さまざまな部分で市として目指すべき教育・保育のあり方を提示し、これに賛同していただける事業者様には積極的な支援をしていきたいと考えています。	-
74	再編整備	民間移管 (後の監査)	民間事業者はさまざまな問題で信頼が失われることが多く、過信してはいけないと思う。私立施設については市が認定した以上、立入検査や指導、認可の取消しができる権限を持って欲しい。また、私立施設に入園後、転園を希望したときに転園ができるだけの枠を確保してほしい。	1		-
75	再編整備	民間移管 (不安)	私立施設は何かと問題が多いため、預けたくない。	1	私立の各施設では、それぞれの特色を活かし、質の高い教育・保育を提供しております。なお、認定こども園の認可権限は大阪府となり、直接の監査権は大阪府に属しますが、市も良好な就学前教育・保育の環境を守る責任があり、また公費支出を行う立場から、必要な指導監督は引き続き行ってまいります。	-
76	再編整備	民間移管 (不安)	公立なら先生への不満があれば、所長や市役所に言えば対応してくれたが、民間移管されると市役所から手が離れ、子どもに対して適当になってしまうのではないか。	1		-
77	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	移管後の共同保育については、市職員の巡回指導という形ではなく、他市でも実施されているような市立保育所の保育士が公務員という身分を残したまま出向という形をとるなど、最低1年は直接保育にあたってほしい。	1		-
78	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	民営化後も公立の保育士を、公務員の身分のまま出向という形で3年間は、民間園に残してほしい。	125	民間移管後、公立の保育士が定期的に移管先の園に様子を見に行くことは想定していますが、出向という形で移管先の園に残すことは現時点では困難であると考えています。	-
79	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	民間移管により、先生が全員替わるのは子どもが可哀想なので、正規職員には数年残ってもらったり、臨時職員の先生には民間移管園に残ってもらうなど子どものことを第一に考えてほしい。	1		-
80	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	守口市は市立幼稚園・市立保育所を引き継ぐにあたっては、民間事業者の選定・サポートを十分に行い、子どもたちや保護者が不利益にならないよう責任ある対応をお願いします。	1	民間移管については、公立の保育水準を引き継ぐことを条件とした移管を検討しております。そのため水準を引き継がない事業者は移管対象となりません。また、今後は、民間移管基本方針を作成し、広く市民の意見を募ることを計画しております。	-
81	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	民間移管はこれまで全国で行われており、問題のなかったケースもあるが、守口市では過去に民間移管した際、計画の拙速さ、保護者への周知遅れ、計画の遅れ、引継ぎ期間の短さ、民間移管先への条件や保護者説明での約束ことが遵守されない等、例を挙げればきりが無いほどの問題が生じたにも関わらず、全て解決できる対処が示されないままである。引継ぎ期間が1年というのも不十分で、引継ぎ期間中に移管先の保育士が辞めた場合などどうするのか。期間を少し延ばせば良いというものではない。	5	過去の民間移管時の問題を繰り返さないよう、他市の事例等を参考に、再編整備計画を進めていきたいと思ひます。民間移管基本方針案を策定し、パブリックコメントを通じて、市民の皆様をはじめ広くご意見を伺ひ、民間移管を成功させるためにあらゆる手立てを講じてまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
82	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	民間移管されても、公立で積み上げてきた保育内容が引き継がれていくように配慮すべきである。	1	民間移管に当たっては、市立幼稚園や市立保育所でこれまで行ってきた1学級当たりの園児数や保育に従事する職員配置といった国の基準よりも市が高く設定して実施してきた水準を継続することを移管条件として設定し、民間移管によって質の低下を招かないよう措置します。また、市立施設として保護者の皆さんから評価をいただいている点についてもできるだけ引き継いでいただくよう求めていく考えです。	-
83	再編整備	民間移管 (引継ぎ)	民間移管する園の子どもたちの環境の変化を和らげ、一人一人に適合した保育を継承するために、共同保育の期間についても一定期間という曖昧な期間ではなく、少なくとも数年は実施すると明示してほしい。	1	子どもたちへの影響、過去の判例、他市の状況等を総合的に勘案し、共同保育の期間を検討していきたいと思います。	-
84	再編整備	民間移管 (候補)	民間移管候補の事業者が1つしか出てこなかった場合、その事業者に決まってしまうのか。	1	民間移管については、公立の保育水準を引き継ぐことを条件とした移管を検討しております。そのため水準を引き継ぐことが困難な場合は移管対象となりません。また、今後は、民間移管基本方針を作成し、広く市民の意見を募ることを計画しております。候補事業者が1園のみの場合の処置についても、基本方針の策定時に検討してまいります。	-
85	再編整備	民間移管 (子どもへの影響)	廃園となり、統合園へ移動する子どもたちにとっては、担任の先生どころか、全く知らない先生ばかりの環境となる。民間移管の際も、子ども達全員が顔見知りの先生とお別れとなる。子どもたちの順応性で片付けられる問題ではなく、もっと子ども達に与える心の傷についても考えるべきである。	5	子どものケアについては、今後最善の方法を検討してまいります。	-
86	再編整備	民間移管	民間移管して良くなれば良いが、今より悪くなるのは避けてほしい。	1	民間移管に当たっては、市立幼稚園や市立保育所でこれまで行ってきた1学級当たりの園児数や保育に従事する職員配置といった国の基準よりも市が高く設定して実施してきた水準を継続することを移管条件として設定し、民間移管によって質の低下を招かないよう措置します。また、お盆休みなど開所しない日の設定については、民間移管時に他のさまざまな運営のあり方とともに移管条件としてどのように設定するかについて民間移管基本方針を策定後、パブリックコメントを実施し、市民の皆様をはじめ広くご意見を伺った中で決定してまいります。また、移管先事業者が決定した後は、市職員、移管先事業者の代表、保護者の代表による三者協議会を組織し、移管後に想定される課題の解消に向けた検討を行います。	-
87	再編整備	民間移管 (民間移管先の条件)	民間移管先の募集に際しても、市民の要望を取り入れた安心できる内容なのか疑問がある。市は民間移管を進めるにあたり、募集・選考・決定期間を1年しか設けておらず、民間移管を進めるにあたり、募集条件等を厳しくしないのではないか。引継ぎ・募集・選考・決定にはそれぞれ最低1年間の期間を費やすべきで、民間移管後も市は当該移管園に監視を行い、保護者や保護者会などの介入や訴えに、市は責任を負うべきではないか。	5	民間移管に際しては、引継ぎ保育を少なくとも1年行うことで、移管後に顔見知りの先生が一人もいなくなるようなことはないと考えています。また、市では、子どもの集団教育の観点からもクラスにはある一定の子ども数が必要と考えています。また、当然のことですが施設や職員配置の基準は厳格に遵守した上でクラス編成等を行います。	-
88	再編整備	民間移管	2園が集約化され、民間移管されると、人数が一気に増え、好きな先生もいなくなり、保育のシステムも変わることとなるのは、子どもたちにとって残酷なので、在園児が卒園するまで民間移管を延期してほしい。	2	民間移管に際しては、引継ぎ保育を少なくとも1年行うことで、移管後に顔見知りの先生が一人もいなくなるようなことはないと考えています。また、市では、子どもの集団教育の観点からもクラスにはある一定の子ども数が必要と考えています。また、当然のことですが施設や職員配置の基準は厳格に遵守した上でクラス編成等を行います。	-
89	再編整備	民間移管	合併にむけて園児募集を停止されると、少ない人数のまま保育を行われ、合併後には突然人数が増えることで目が行き届かなくなり、怪我が増えたりしないか心配です。	85	合併後、人数が増えたとしても、施設や職員配置から決まる定員以上にお子様をお預かりするわけではなく、突然目が行き届かなくなるようなことはないと考えています。また、合併や民間移管などの過渡期に特有の問題については、事前にどのようなことが想定されるか十分に検討し、必要に応じて現場に勤務する職員による話し合いや、研修の機会の確保に努めます。	-
90	再編整備	民間移管	子どもへの虐待ととれる保育の早期発見のために市からの監視及び保護者会代表者の平日不定期訪問を認めること。	1	子どもへの虐待はあってはならないことです。市としては、今後もこれまで以上に虐待の未然防止に努めるとともに、具体的な施策を検討してきます。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
91	再編整備	民間移管	人口が減少し子どもの人数が減ってきた場合、民間移管先の事業者は必ず確保できるのか。その時は運営を行ってもらうために公費を支出するのか。	1	民間移管先の事業者が確保できない、条件を満たさないとすれば、募集方法の再検討や、移管時期の見直しなどを検討してまいります。	-
92	再編整備	民間移管	民間移管先が見つからなかった場合はどうなるのですか。また、引継ぎ年度の対象となる平成29年度途中で移管先が見つかった場合、移管時期はどうなるのか。	1	ご質問のように引継ぎ年度の途中で移管先が決定し、引継ぎ期間を少なくとも1年程度確保できない場合は、移管時期の再検討を行います。今後は、民間移管基本方針を作成し、パブリックコメントを通じて市民の皆様をはじめ広く意見を募る予定です。	-
93	再編整備	民間移管	民間移管までの2年間に子どもの募集がないのは間違っている。	1	市立保育所の園児募集については、民間移管後に幼児教育も行う認定こども園として運営していくことも考慮し、現在の在園児数などを勘案しながら、実施していきたいと考えています。今後は、市立施設が集約化される予定ですので、私立認定こども園や私立保育所などの民間施設のご利用もご検討くださいますようお願いいたします。	-
94	再編整備	民間移管	児童が閉園等で保育所が変わることとなり、知らない人ばかりのなかに入ることにならないように、閉園時にいた保育士が短期間でもよいので新しく移動した園にきてほしい。	1	民間移管の前年度には、移管予定の事業者から保育士等が市立保育所に来て子どもたちの保育を行ったり、保育方針や園の行事等について引き継いでもらう期間を少なくとも1年程度確保し、園児さんともなじんでいただく時間を確保したいと考えています。民間移管後、公立の保育士が定期的に移管先の園に様子を見に行くことは想定していますが、出向という形で移管先の園に残すことは現時点では困難であると考えています。	-
95	再編整備	民間移管	平成30年度の民間移管はいいが、平成30年、31年、32年度の子どもは母校で卒園出来るように在園児の移動や環境の変化がないようにしてほしい。集約化しなければ、各園で募集も出来て待機児童も減らすことが出来る。今の0歳、1歳、2歳児が犠牲になってしまう。	1	できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備をすすめていく考えです。待機児童の解消を図りつつ、また今後の人口推計を注視しながら計画を進めていく予定です。また、民間移管時期にかかるお子様については、環境の変化が生じることによってマイナスの影響が極力生じないように、過渡期に特有の問題については、事前にどのようなことが想定されるか十分に検討し、必要に応じて現場に勤務する職員による話し合いや、研修の機会の確保に努めます。	-
96	再編整備	民間移管(罰則)	民間移管後、民間経営者が募集や選考条件を守らない場合には、厳しい罰則を設けてほしい。	1	民間移管の際に市が付した条件を守らない事業者には、厳正に対処していきます。罰則の内容などについては、民間移管基本方針の策定時に検討し、パブリックコメントを通じて市民の皆様をはじめ、広く意見をいただきたいと考えています。	-
97	再編整備	認定こども園(幼稚園と保育所の統合)	保育所、幼稚園に通わせる親はそれぞれ求めるものが違うので、認定こども園になるとそれぞれに対応しきれず、目が行き届かない子どもが出てくるのではないかと。	3	市立幼稚園の教育と市立保育所の保育はどちらも、お子さん一人一人の状況に合わせて教育・保育の内容を設定しております。認定こども園になっても、子どもの成長にとって何が一番いいのかという観点に立って、幼稚園のいいところと保育所のいいところを併せ持つ教育・保育を提供していく考えです。参観日など園での行事については、保護者の就労状況の違いを踏まえて曜日や時間帯を設定するなど、今後詳細について検討していきます。園運営に当たっては、子どもの安全を第一に考え目の届かない場面を作らないよう、これまで以上に配慮していきます。	-
98	再編整備	認定こども園	八雲東保育所は広いので、認定こども園にしても問題ないが、西保育所は部屋が狭く、子どもが遊ぶスペースすら確保できないため、先生は園児がいる部屋で作業をしていた。段ボールやカッターナイフを床に置き、子どもの安全が確保されていないという状況で、人数を増やし、狭い部屋で窮屈に成長させるつもりなのか。	1	保育に当たっては、何よりもまず子どもの安全を第一に考えなければなりません。ご指摘のような状況は直ちに改善いたします。なお、認定こども園に移行後も当然のことながら、保育室の面積に応じたクラス編成など、国や大阪府が定める基準を遵守していきます。	-
99	再編整備	認定こども園	在園児への影響を出してまで認定こども園に移行するメリットが見えない。計画ありきで、その影響を最低限にするために行うのであれば本来転倒である。	1	今後の子どもたちにとって過ごしやすい守口市を目指すための計画です。保育・教育の必要な子ども以外の在宅児童を含めた総合的な子育て支援施策を行っていきたくと考えていますのでご理解くださいますようお願いいたします。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
100	再編整備	認定こども園	認定こども園のメリット・デメリットの比較が明記されていない。効果を検証し必要なら戻れるように、幼稚園や保育所という制度を残すべきである。認定こども園への一点集中化では保護者の選択肢を奪うことになる。	1	認定こども園と幼稚園、保育所との比較は、再編基本計画に掲載いたしました。認定こども園のデメリットについては、今後どのような運営を行うのかによってその内容が大きく異なると考えています。今後、市立認定こども園の具体的なあり方をお示しする中で、課題として明らかにしていきたいと考えています。なお、市では私立幼稚園及び私立保育所の認定こども園化を推進していますが、全園に強制しているものでも、また今後一切、幼稚園や保育所に戻ることを禁止しているものではありません。認定こども園になることで、現在定員に空きがある施設での入園が可能となり、3歳以上の児童に等しく幼児教育の機会が保障されることがメリットと考えております。	-
101	再編整備	認定こども園	なぜ幼稚園と保育所を合わせて認定こども園にするのかわからない。保育士や幼稚園では免許も違い、保育所は保育の場、幼稚園は集団生活で学ぶ場であり、親から求められているものも違う。なぜ一緒にしてしまうのか。幼稚園と保育所を統合する必要があるのか。幼稚園は幼稚園同士、保育所は保育所同士を統合する方がいいのではないのか。	7	本市ではすべての就学前の子どもが等しく幼児教育を受けられることを目指しております。幼稚園の入所率や保育ニーズの高まりを勘案し、幼稚園、保育所のそれぞれを機能の良いところをあわせ持つ施設として認定こども園を整備することで、集団教育の確保、利用料金の公民格差の是正による利用者の選択肢の拡大、質の高い教育・保育の提供、子育て支援の充実が図られることから、認定こども園への移行を進めていく考えです。	-
102	再編整備	認定こども園	0～2歳の小さな子どもたちを安心して預けられる園を希望します。	1	認定こども園でも、3号認定子どもの利用定員を設定している園では、園により設定人数に違いはありますが、これまでの保育所と同様、0歳から2歳までのお子様を安心して預けることができます。	-
103	再編整備	認定こども園	公立保育所が認定こども園になることで、保育だけでなく教育を受けることができるようになることは賛成だが、1号の子どもが早く帰る、2号、3号の子どもが遅くまで残ることで、2号・3号の子どもが嫌な思いをしないように配慮してもらいたい。	1	例えば、教育時間終了後、預かり保育を利用する子どもは各クラスで午睡し、帰宅する子どもは別室に移動して遊びながらお迎えを待つなど、先行事例を参考にしながら最も子どもへの影響が少ない方法を見いだしていきます。具体的な実施方法は検討中ですが、現在、幼稚園教諭や保育士を加えて認定こども園のあり方を検討している就学前教育・保育研究プロジェクトチーム(PT)での検討や他市の事例も参考に、運営のあり方を決めていきたいと考えています。	-
104	再編整備	認定こども園	庭窪公民館の建て替え時にでも、東部エリアに市立認定こども園を建設してほしい。(1F こども園、2F 公民館、3F 体育館)	1	公立の認定こども園の箇所数については、児童数の推移や、民間施設の整備予定などを考慮し、各エリア1つとしております。現計画では、市立とうた幼稚園の場所にも新築により整備することとしております。	-
105	再編整備	認定こども園	なぜ今ある幼稚園や保育所を閉鎖し、全てを認定こども園にするのか。親が働き出し、辞めたりした時に園を変わらなくてよいと説明を受けたが、そのような人はわずかである。大半の保護者は、子どもを保育所に幼稚園に入れる時にどうするか決めている。	1	本市ではすべての就学前の子どもが等しく幼児教育を受けられることを目指しております。幼稚園の入所率や保育ニーズの高まりを勘案し、幼稚園、保育所のそれぞれの機能の良いところをあわせ持つ施設として認定こども園を整備することで、集団教育の確保、利用料金の公民格差の是正による利用者の選択肢の拡大、質の高い教育・保育の提供、子育て支援の充実が図られることを目的としております。また、ご指摘のように保護者の就業状況の変化を理由とした転園の事例は少ないかもしれませんが、安定した子どもの教育・保育環境を確保することは大切であると考えています。	-
106	再編整備	認定こども園	新たにつくる公立認定こども園は市民が納得できるようなものを建ててください。	1	東部エリアの市立認定こども園につきましては、子どもの教育環境として優れ、安全で快適な生活の場として子どもや保護者の皆さんに喜んでいただけ、地域の子育て支援にも活用できる施設とするよう、できる限りの工夫を凝らした施設とすべく、慎重に検討してまいります。	-
107	再編整備	認定こども園	1号、2号、3号の子どもを同じ部屋、環境で保育することは、先に迎えが来て帰る子どもと残る子どもが共存することとなり子どものことを考えていない。別々の部屋で保育すべきである。	1	例えば、教育時間終了後、預かり保育を利用する子どもは各クラスで午睡し、帰宅する子どもは別室に移動して遊びながらお迎えを待つなど、先行事例を参考にしながら最も子どもへの影響が少ない方法を見いだしていきます。具体的な実施方法は、幼稚園教諭や保育士を加えて認定こども園のあり方を検討している就学前教育・保育研究プロジェクトチーム(PT)での検討や他市の事例も参考に、運営のあり方を決めていきたいと考えています。	-
108	再編整備	認定こども園 (教育・保育の水準)	現在守口市で行われている保育水準、教育水準を守り、発展させることに責任を持つことを明文化することが必要だと思う。各施設の現状把握と指導を怠らないでほしい。公立幼稚園や公立保育所が公立の認定こども園に移行しても、市が公立施設をお荷物だと考える以上、良い認定こども園にはならないと思う。公立認定こども園がスタートする時には全て円滑にいくようにしてほしい。	3	基本計画の「6. 市立施設の再編に関する基本原則と留意点等」で市立幼稚園及び保育所での教育・保育水準の継承については記述しています。すなわち、市立保育所の市立認定こども園への移行又は民間移管に当たっては、市立幼稚園や市立保育所でこれまで行ってきた1学級当たりの園児数や保育に従事する職員配置といった国の基準よりも市が高く設定して実施してきた水準を維持するとしています。また、本市では市立施設でのサービスを今後ますます発展させていく考えです。現在、市立認定こども園の設置に向けて準備を行っているところで、ご期待に添えるよう鋭意取り組んでまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
109	再編整備	認定こども園 (地域との交流)	公立幼稚園では、園の中で地域や小学校との交流を行っていたので、自ら学校や地域の行事に足を運ばなくてもよかった。認定こども園になっても、今までのようにできるのか。	2	3か所となる市立認定こども園でも、従来、保育所や幼稚園で行っていた地域や小学校との交流等の活動は引き続き行っていきます。	-
110	再編整備	認定こども園 (在園児枠)	とうだ幼稚園の跡地に平成30年度に開園する東部市立認定こども園について、統合先となったおおくほ幼稚園の平成29年度の入園児が年長になったときに必ず入れるようにして下さい。	1	そのようにいたします。	-
111	再編整備	認定こども園の説明	認定こども園についての説明が不十分である。 (認定こども園のメリットを、働く母親の視点から説明してほしい。)	4	認定こども園では、3歳以上の全ての児童に対して教育時間が設定され、遊びを通じた幼児教育の場が保障されます。また、従来の保育所では、保護者が仕事をやめるなど、保育を必要としない状況となったときには退所する必要があるりましたが、認定こども園では、保護者の就労状況に関わらず、同じ園にお子様を預けることができます。つまり、最初は2号認定子ども(保育を必要とする子ども)として通園していたが、保護者が仕事をやめても、1号認定子ども(保育を必要としない子ども)として同じ園に通うことが可能となります。さらに、従来幼稚園に通っていたお子さんでも、一時預かり料金を負担すれば、2号認定子どもと同じ時間までの延長保育を利用できます。市立認定こども園の具体的なあり方については、現在詳細を検討中ですので、まとも次第お知らせしたいと考えております。	-
112	再編整備	認定こども園化への不安	あおぞら保育所の平成28年度からの認定こども園への移行に職員も戸惑っている状態で、子どもたちは伸びやかに園生活で学び育てることができるのか不安に思う。	1	職員への説明も丁寧に行い、理解が得れるよう努めます。現場の職員と一丸となり、お子様が伸びやかに笑顔で園生活を過ごし、学び育てていく環境整備に努めます。	-
113	再編整備	認定こども園化への不安	現在2年保育でやっている公立が、認定こども園になることによって、希望者がこれまでより増えるかもしれない、条例上希望されれば断れないと説明を受けたが、そうあった場合は人数的にも環境的にも質が落ちるのではないかと心配している。	1	市立認定こども園におきましては、平成30年度から1号認定子どもの3年保育を実施する予定です。これに伴い現在より多くの入園希望者があることも想定されますが、施設環境や職員配置の関係上、定員を設ける必要がありますので、その範囲内での募集となります。募集定員を上回った場合は、抽選を行う可能性もあります。	-
114	再編整備	認定こども園化への不安	現在の保育所の規模で子どもの人数だけ増えたとその分危険が増えるのではないが。	1	児童の安全や発達保障を考えて、職員配置については、従来どおりの考え方・基準を適用しますが、規模が大きくなった場合にどのような配置が適切か、必要に応じてその都度検討していきます。	-
115	再編整備	入園(所)枠の拡大	公立施設の箇所数が減れば、毎日の送迎など保護者の負担が増えることになるため、再編整備には反対です 公立幼稚園・保育所を残し、むしろ幼稚園や保育所の入園・入所枠を拡大し、いつでも入所できるようにしてください。	1		-
116	再編整備	集約化の根拠	なぜ市立施設の集約化を行うのか、根拠があやふやである。	1	できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備をすすめてまいります。また、市内に計20施設ある私立幼稚園及び私立保育所は、そのうち既に11施設が認定こども園に移行しました。その他の園も平成29年度までにその多くが認定こども園に移行する予定であり、これまで幼稚園であった園では新たに保育枠を設け、これまで保育所であった園では新たに幼児教育枠が設けられます。さらに、従来認可外保育施設だった施設のうち8施設が市条例の基準を満たす小規模型保育事業所に移行し、0歳から2歳までの保育枠が増加しています。市では、これらの状況も踏まえ市立施設の再編に取り組んでいます。市立施設だけを見ると現在の位置から遠くなる状況もありご不便をおかけする部分があるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。また、私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園などもご検討いただきたいと思いますと考えています。	-
117	再編整備	在園児の卒園保証	今在園している子の卒園まで公立のままにするべきである。	1		-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
118	再編整備	在園児の卒園保証	公立園が合併して民間移管される際の定員が現在の在園児ベースで2名オーバーしている聞いたが、それなら現在の0歳・1歳・2歳児は現保育所で卒園させてほしい。	1	現在、各園に在園している園児数を考慮して再編整備計画を作成しています。そのため、合併に伴い、定員数がオーバーすることにより退園していただくようなことはございません。	-
119	再編整備	在園児の卒園保証	幼稚園・保育所の在園児が卒園するまで、廃園を行わないで欲しい。合併すると先生の対応や子どもの影響が目に見えてわかるので、在園児はそのまま卒園させてほしい。	55	公立と民間の施設の現状や入所状況、今後の児童数の推移などを踏まえて、見直さざるを得ないと総合的に判断をして、今回の再編計画を策定しましたので、ご理解のほどお願いいたします。	-
120	再編整備	在園児の卒園保証	在園児が卒園するまでは廃園・統合・民間移管・認定こども園への移行は行わないで下さい。	2		-
121	再編整備	在園児	少人数での保育によって消極的な性格になる傾向もあると聞いたことがあるが、年中組まで同級生のメンバーが変わらず増えないということはおかしい。もっと子どものことを考えてほしい。	1	再編整備の過渡期に当たり、現在の在園児数を勘案する中で募集制限をかけざるを得ない状況がございます。今後は、集約化の際の受入れ可能人数と、募集時点の実際の園児数を注視しながら、園児の受入れが可能であれば行っていきたいと考えています。	-
122	再編整備	在園児への保証	統廃合する場合、在園児が今と同じ条件で確実に移ることのできる保育枠は確保されているのか。同じエリアでの受入れ先を確実に確保して欲しい。在園児がその後通える園の保育枠を確保して欲しい。	4	今回の再編計画では、市立保育所の在園児の受入れ先は同じエリア内で確保しております。また、民間移管の前年度に在園している児童につきましては、保育料は民間移管後も同額(年齢、所得の変化による変更を除く)ですが、保育料以外の利用者負担に、市立保育所での利用者負担額と差額が生じた場合には、原則として市が負担することとしております。	-
123	再編整備	距離	子どもや親の負担軽減のために、自宅から近くの園に入れるように配慮してほしい。遠い園へ送迎をする保護者の負担や安全面を考えてほしい。	24	市立施設だけを見ると現在の位置から遠くなる状況もありご不便をおかけする部分があるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。また、私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園などもご検討いただきたいと思います。	-
124	再編整備	送迎バス	とうだ幼稚園跡にできる新しい認定こども園に通わせるには、今通っている保育所とは全くの反対方向になり、距離も遠くなるため、通園バスを必ず出してほしい。	1	市立とうだ認定こども園に通園バスを運行する考えはありません。現在通われている施設と比較すると遠くなる場合もあり、ご不便をおかけする部分があるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。	-
125	再編整備	送迎バス	転園、廃園後にバスを走らせる予定がないと、安心して子どもを預けられない。	3	公立では修正案でお示したようにバスを走らせる予定はございません。現在通われている施設と比較すると遠くなる場合もあり、ご不便をおかけする部分があるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。また、新規入園をお考えの際には私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園などもご検討いただきたいと思います。	-
126	再編整備	送迎バス	梶保育所と佐太保育所の民間移管にあたり、民間事業者がスクールバスを出すと思いますが、0歳児がスクールバスに乗って通園するのは無理だと思う。保護者や保育士の負担を増やさないでください。	1	スクールバスにおいては、すでに民間事業者で実施しているところがあり、参考にしながらスクールバスの運行を検討して参ります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
127	再編整備	入園(所)枠の確保	再編により現在通っている市立保育所が閉園になる場合は、受入れ先は、同じエリアで確実に確保して欲しい。	1	再編整備計画により市立保育所が閉園となる際の新たな受入れ先については、同じエリアの市立保育所や市立認定こども園、民間移管先の私立認定こども園で確実に確保します。	-
128	再編整備	公立幼稚園の2年保育存続	幼稚園を統合することに反対しませんが、2年保育の1号認定の保育クラスを確保して欲しい。家庭の事情や養育方針の違いがあるので、今までのような選択肢(2年保育)がないと困る人がたくさんいると思う。	1	現計画では、市立認定こども園に移行後平成30年度から、1号認定子どもの3年保育を実施する予定です。しかしながら、全員が必ず3歳から入園しなければならないわけではありませんので、4歳からの入園も選択できるような定員設定に努めてまいります。	-
129	再編整備	園児募集	再編に伴い募集が抑制される平成28年、29年、30年度に待機児童となる子どもは、大人の都合で犠牲になる。こんな計画では子どもを産むことも出来ず、少子化がさらに進みます。	1	市立保育所の園児募集については、民間移管後に幼児教育も行う認定こども園として運営していくことなども考慮し、現在の在園児数などを勘案しながら、実施していきたいと考えています。今後は、市立施設が集約化される予定ですので、私立認定こども園や私立保育所などの民間施設のご利用もご検討くださいますようお願いいたします。	-
130	再編整備	募集(認定こども園)	認定こども園を作るにあたっては、しっかりとプランを整えて市民の納得を得た上で段階を踏んで進めてほしい。幼稚園を統合する際は、年中・年長の保育クラスへも入りやすくなるよう定員を確保してほしい。平成30年より東部市立認定こども園が開園するが、0歳児も受け入れてほしい。	1	あくまで、募集予定は現段階の計画であり、今後の児童数の推移や、今後の施設の設計を踏まえて、歳児の募集を検討してまいります。	-
131	再編整備	募集(認定こども園)	平成30年度開園予定の市立とうた認定こども園で、0歳児の募集がありませんが、0歳児保育の実施は必要だと思う。平成30年度より東部市立認定こども園が開園するが、0歳児も受け入れてほしい。	2		-
132	再編整備	募集	平成28年度、29年度に公立保育所では募集を停止する年齢があり、待機児童が発生しないようにお願いしたい。特に小規模保育を修了する3歳児の募集がなく、3歳児で待機児童が発生することはないのか。待機児童が発生した場合は、公立保育所で待機児童を預かることや、統廃合を1年延期するなど柔軟な対応をお願いしたい。	1	従来は募集する際に施設の入所状況や職員配置などで募集できない歳児があっても明記しておりませんが、すこやか幼児審議会で、統廃合の計画がある場合は、事前に説明をすることの答申を頂き、それに基づき、今回明記させていただきました。なお、これはあくまで現段階であり、転園等で変わる可能性があり、毎回募集の際にどの歳児が募集がないか明記させていただきます。また、3歳になりますと、今後私立幼稚園の認定こども園化などで枠が広がり、公立以外の選択肢も検討していただきたいと考えております。	-
133	再編整備	募集	募集のない歳児があり、今現在、入所希望を出して、待っている人にとっても不平等である。現在の待機児童を解決しないまま、市の計画のために、将来の1号定員の受け皿のために募集のない歳児が2年もあるのは納得できない。現在困っているお母さんのお子さんは2号、3号認定であり、2年後の1号認定の方を優先されるのがわからない。この2年間だけでも、条件付き入所を検討するなど、今現在の待機児童をどうにかしようとする動きをみせてほしい。	1	従来は募集する際に施設の入所状況や職員配置などで募集できない歳児があっても明記しておりませんが、すこやか幼児審議会で、統廃合の計画がある場合は、事前に説明をすることの答申を頂き、それに基づき、今回明記させていただきました。なお、これはあくまで現段階であり、転園等で変わる可能性があり、毎回募集の際にどの歳児の募集がないか明記させていただきます。また、市立施設が集約化により、従来よりも少ないですが、一定の1号の枠は必要であると考えておりますが、今後のニーズなどを考慮し検討してまいりたいと考えております。	-
134	再編整備	募集	来年度の募集がないことなどを見ると、現在いる待機児童のことは無視しているように思う。	1	市立保育所だけでなく私立認定こども園や私立保育所、今年認可いたしました小規模保育事業所で確保される保育枠を十分に活用し待機児童の解消を図ってまいります。	-
135	再編整備	募集	兄弟が一緒に保育所に優先的に入れるようにしてほしい。	1	兄弟姉妹が同一の施設に通園できることが保護者の負担軽減につながることから、他の入所希望者との公平性を保った上で、配慮していきたいと考えています。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
136	再編整備	募集	上の子がやくも幼稚園に通園しており、下の子どもは平成29年度より入園を予定していたが、平成28年の受入れをもって閉園予定という考えは理不尽で、納得できない。平成29年度より2年保育を考えていた子どもがいるということをきちんと考えてほしい。	1	将来の児童数も念頭に置いた整備を検討していきますので、どこかの時点で閉園を決断せざるを得ず、民間施設も選択肢に入れていただくをお願いすることもあると考えております。	-
137	再編整備	募集	全て認定こども園にしてしまい、4・5歳まで家で子どもを見ていたいという人は、本当に4・5歳から認定こども園に入ることができるのか。1歳や2歳から入園している子どもが優先にならないのか。現段階で、私立に問い合わせたら、既に満員で入れない状態であったが、全体的に子どもが入れるのか。	1	1歳や2歳から入園しているお子さんは、3歳以上になりますと基本的には2号認定の利用定員となる方がほとんどです。ただし、一部の方は1号に切替えてご利用になる場合もありますが、その場合にはできるだけ利用定員の調整を図りながら、1号の募集枠を確保したいと考えています。なお、将来の児童数も念頭に置いた再編整備を検討していきますので、民間施設も選択肢に入れていただくをお願いすることもあると考えております。	-
138	再編整備	募集	南部エリアは、市立認定こども園への入園希望者が増えると思うが、現段階では定員40名ということだが、キャパシティが少なすぎる。園庭も狭く、子どもを詰め込んだ状態で良い教育を受けさせることはできるのか。増築をするか、市立認定こども園をもう一つ作るかしてほしい。	1	あおぞら保育所の認定こども園への移行に当たっては、教育・保育の場としてよりよい環境の確保について、あらゆる角度から検討していきたいと考えています。	-
139	再編整備	募集	市立施設がたった3か所となる計画では保護者の選択肢がないに等しい。日本は民主主義の国であり、個人が平等に選択できる状態を保ち、市民に選択権があるよう保つことが市には求められる。現在の保育所・幼稚園へ通う保護者の市立への転所・転園希望者の数、待機児童の市立への入所・入園希望者の数、各エリアごとの子どもの数と施設の必要数、過去の入所希望データを基にした今後の市立施設への需要を踏まえた上で市立施設として必要な数を残してほしい。	5	できるだけ早期に良好な教育・保育環境を確保するため、市では、市立施設の集約化と民間移管によって生じる効果を活用して、新たな子育て支援の充実を図る観点から、再編整備をすすめてまいります。また、市内に計20施設ある私立幼稚園及び私立保育所は、そのうち既に11施設が認定こども園に移行しました。その他の園も平成29年度までにその多くが認定こども園に移行する予定であり、これまで幼稚園であった園では新たに保育枠を設け、これまで保育所であった園では新たに幼児教育枠が設けられます。さらに、従来認可外保育施設だった施設のうち8施設が市条例の基準を満たす小規模型保育事業所に移行し、0歳から2歳までの保育枠が増加しています。市では、これらの状況も踏まえ市立施設の再編に取り組んでいます。市立施設だけを見ると現在の位置から遠くなる状況もありご不便をおかけする部分があろうかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。また、私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園などもご検討いただきたいと思います。	-
140	再編整備	募集	計画が出され、園児募集の停止も多く見受けられる。そのため、入りたくても入れない状態になっている。	82	公立保育所だけでなく、私立認定こども園や私立保育所もご検討いただけないでしょうか。	-
141	再編整備	募集	公立幼稚園の募集では、この計画が確定していないのに既にわくぼ幼稚園は4歳児しか募集がないのはおかしい。	1	公立幼稚園の募集については、H28年度の5歳児募集については、例年同様、若干名の募集を行いました。わくぼ幼稚園に関しては、H28年度に在園する児童がいなくなったことで、平成28年度末閉園の予定でしたが、一年前倒しの平成27年度末閉園とする予定です。なお、計画の確定前の園児募集ですが、既に園児数が減少し集団教育の継続が困難な市立幼稚園がある一方で、私立幼稚園や市立認定こども園の1号認定子どもの園児募集が既に始まっているため、保護者の方の選択に際してできるだけ早く計画案の内容をお知らせすることが必要と考え実施いたしました。このことにつきましては、当初計画を諮問いたしました市すこやか幼児審議会や市立幼稚園、市立保育所での保護者説明会でもっと早くから計画案の情報を周知すべきとの意見をいただきましたので、これらのご意見を踏まえ行ったものでございます。	-
142	再編整備	募集	来年度の保育所入所児の募集で既に修正が加えられていると聞いているが本当か。もしそうなら、時間的余裕も含めて問題がある。	1	修正案のパブリックコメントは10月8日から実施しましたが、市立保育所の入所募集は10月19日から実施いたしました。この間に保育所の状況に変化が生じたため、募集時には修正案でお示した状況を変更する必要が生じたものです。保護者の皆様にはご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。	-
143	再編整備	小規模での説明会	小規模保育所での説明会を行う必要があるのではないかと。	1	今後は市民の皆様にも更なる周知徹底を図ってまいります。	-
144	再編整備	統廃合時の説明	統廃合が行われる場合は、園児募集の時期に保護者への説明を十分に行ってください。	7	今後、園児募集の際には、再編整備計画に伴う施設ごとの園児募集の有無等について周知するとともに、市立施設の統廃合についても保護者の方々に説明を行ってまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
145	再編整備	保護者への説明	民間移管した際の細かい説明をもっとしてほしい。	1	今後は民間移管基本計画を作成し、広く意見を聴取したうえで確定してまいります。	-
146	再編整備	保護者への説明	認定こども園に移行し、1号と2号の料金の差、1号の募集、クラス分け、行事などどのように変わり、行っていくのか具体的に示してほしい。	1	認定こども園では、市立・私立を問わず、1号認定子どもの保育料は、所得階層により額が異なりますが、4歳児と5歳児の保育料は私立幼稚園の保育料と統一しました。(最高額で11,000円)3歳児は、最高額で15,700円です。2号・3号認定子どもの保育料は基本的に従来と同額です。1号認定で、月曜日から金曜日まで毎日4時間以内の一時預かり(延長保育)を利用した場合の利用者負担額が給食代も含めて、2号認定の利用料とほぼ同水準となるよう設定しました。詳しくは市ホームページに掲載していますので、そちらもご覧ください。市立認定こども園のあり方については、先行事例を参考にしながら最も子どもへの影響が少ない方法を見いだししていきます。具体的な実施方法は検討中ですが、現在、幼稚園教諭や保育士を加えて認定こども園のあり方を検討している就学前教育・保育研究プロジェクトチーム(PT)での検討や他市の事例も参考に、運営のあり方を決めていきたいと考えています。	-
147	再編整備	保護者への説明不足	平成29年度より外島保育所ではじまる市立認定こども園について、何も説明がない。現時点で待機児童がいるなか、幼稚園枠が何人あり、保育士等の人員、設備は整っているのか等疑問だらけである。	1	外島保育所が移行する認定こども園については、現時点では平成29年度は少数ですがやくも幼稚園閉園後の平成30年度には30名程度の1号認定枠となる見込みです。保育士等の確保については、もちろん市基準での配置を行い、認定こども園として果たす地域子育て支援のための専任職員も配置していきます。その他の園も含め、市立認定こども園のあり方については、先行事例を参考にしながら最も子どもへの影響が少ない方法を見いだししていきます。具体的な実施方法は検討中ですが、現在、幼稚園教諭や保育士を加えて認定こども園のあり方を検討している就学前教育・保育研究プロジェクトチーム(PT)での検討や他市の事例も参考に、運営のあり方を決めていきたいと考えています。今後、具体的な姿が決まり次第、お示しさせていただきます。	-
148	再編整備	保護者への説明不足	昨年申し込んだときには廃園の可能性など説明もなかったのに、計画が早急すぎて対応出来ない。選択の少ない子育てを強いるのはやめてほしい。	1	昨年度には、具体的な計画案が出来ていなかったため、説明が出来ませんでした。守口市では、1日も早く子どもにとって過ごしやすい環境を作りたく考えていますので、ご理解くださいますようお願いいたします。	-
149	再編整備	職員の確保	現在、保育士も幼稚園教諭も数が足りておらず、非正規職員で対応しているが、その非正規職員も足りていない。子どもの数に見合った職員数の確保ができるよう、公私ともに非正規職員の勤務条件を向上させ、正規職員の数も増やすなど、必要な措置を講じてほしい。	2	国においても処遇改善等取り組んでいるところがありますが、市といたしましては公私ともに必要な措置を検討してまいります。	-
150	再編整備	職員の確保	子どもたちの安全確保のために、人員を増やし、雇用の確保をしてほしい。	1	職員の確保につきましては、多様な採用形態により確保を図ってまいります。	-
151	再編整備	今後の課題	今回、修正案が具体的に出され、少子化、耐震工事の必要性や全国的な取組みを理解し、仕方ないと思っている。ただし、公立を存続してほしいという声があるということは、公立には良いところがあると思うので、今後の課題としてその声を活かしてほしい。	1	市立幼稚園、市立保育所の良さをしっかりと受け継いだ市立認定こども園を作りたいと考えています。市民の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。	-
152	再編整備	多様なニーズへの対応	計画に記載している市立施設の役割について、市内3園となったときに実現できない方が不自然である。保護者の多様化しているニーズに応えることが、今まで私立で出来て、市立は出来なかった、若しくはしなかったことが問題と考える。3園に縮小してから実現するなど怠慢としか思えない。現状の市立施設で多様化しているニーズに応えるよう努力し、実現すべきである。	5	今後、3園の認定こども園に集約化したうえで行ってまいりたいと考えています。	-
153	再編整備	廃園	廃園になることで、兄弟が同じ園に入れないことになる。また、母校がなくなり、子ども達が悲しい思いをする。	82	できるだけ早期に子どもたちに良好な教育・保育環境を提供し、今後の児童数の推移や私立幼稚園等の認定こども園への移行状況などを踏まえ、再編整備計画を策定しております。また、市立施設の集約化、民間移管などで確保できる財源の活用により多様な子育て支援を実施していきたいと考えております。兄弟がいらっしゃるご家庭ではご迷惑をおかけすることもあると存じますが、なにとぞ再編の趣旨を汲み取っていただき、ご理解をお願いいたします。なお、廃園後の施設の活用については現段階では未定です。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
154	再編整備	廃園	廃園については、それぞれの保育所・幼稚園ごとに丁寧に吟味して決めるべきである。	1	保育所、幼稚園の廃園については、各園の実情や広さなどを勘案して検討し、再編整備計画を策定しました。	-
155	再編整備	経済的負担	民営化によって生じる全ての経済的負担を確実に保障してほしい。	127	民間移管する園に引き続き通園するにあたり生じる経費と、市立保育所に通う場合の経費の差額につきましては、答申を踏まえ市が負担する方向で検討します。ただし、当該民間移管先以外の民間施設に転園する場合に保護者が負担する経費の増分につきましては、市が負担する考えはありません。	-
156	再編整備	経済的負担	市民の意見を無視して計画を策定することに腹が立つ。せめて移管の前年度に残っている在園児には制服代を出すなど市民の負担を減らしてほしい。	1	公立幼稚園の園児の徒歩通園をどう確保するのか。地元の小学校と一緒に進むという観点は全くないのか。	-
157	再編整備 (幼稚園)	公立幼稚園のニーズ	公立幼稚園の園児の徒歩通園をどう確保するのか。地元の小学校と一緒に進むという観点は全くないのか。	1	市立施設だけを見ると現在の位置から遠くなる状況もありご不便をおかけする部分があるかと存じますが、ご理解のほどお願いいたします。また、市立施設だけでなく私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園などもご検討いただきたいと思います。また、地元の小学校へ一緒に通うという点では、小学校区ごとに施設が存在する状況が理想的かもしれませんが、しかしながら、今後ますます少子化が進むことが予想される中、そのような施設配置は1施設当たりの子どもの数が少なくなり、また、効率的な運営も難しくなります。市立施設の集約を行う以上、これまでどおり小学校との連携を高い水準で維持するためには、例えば進学する小学校ごとに園児の訪問先や行事の連携先を設定するなど、さらなる工夫が必要になると考えます。集約化の影響が小学校との連携に悪い影響を与えることがないように、連携方法について十分に検討してまいります。	-
158	再編整備 (幼稚園)	公立幼稚園のニーズ	公立幼稚園での時間延長や3年保育の実現が強く望まれているが、こうした保護者の要望を実現してこなかったために入園を希望する園児が少なくなったのではないのか。	1	これまでさまざまな問題から実現できなかったことは、市の責任であったと考えています。しかしながら、今後は市立施設を市立認定こども園3園に集約化することで、1号枠の一時預かりや3年保育、また保育枠では職員体制が整い次第、延長保育も実現していく考えです。認定こども園としての地域子育て支援に関する役割も果たしてまいります。集約化や民間移管に伴う財源の捻出により、これまで以上に充実した教育・保育サービスをご提供したいと考えておりますので、なにとぞご理解のほどお願いいたします。	-
159	再編整備 (保育所)	公立保育所のニーズ	公立保育所の私立並の延長保育や、全ての園での0歳児からの保育をなぜ行っていないのか。保育費の削減分ができていなかったのか。	1	これまでさまざまな問題から実現できなかったことは、市の責任であったと考えています。しかしながら、今後は市立施設を市立認定こども園3園に集約化することで、1号枠の一時預かりや3年保育、また保育枠では職員体制が整い次第、延長保育も実現していく考えです。認定こども園としての地域子育て支援に関する役割も果たしてまいります。集約化や民間移管に伴う財源の捻出により、これまで以上に充実した教育・保育サービスをご提供したいと考えておりますので、なにとぞご理解のほどお願いいたします。	-
160	再編整備 (保育所)	公立保育所の 老朽化対策	公立保育所は一齐に施設が老朽化したのか。年次計画を立てなかったのか。財源は1箇所につき4億円で済むのではないのか。(あおぞら保育所の例)	1	市立幼稚園及び市立保育所は、そのほとんどの園で施設の維持に必要な最低限の補修・改修しか行ってこなかったという実態がございます。しかしながら、平成14年度から16年度にかけて、市立保育所の民間移管を実施し、その結果、民間事業者によって全ての園が園舎を新築し保育環境のめざましい改善が実現したこともまた事実です。今般市立あおぞら保育所は今後の公営保育を担う拠点のひとつとして、久々の新築による整備を実現しました。施設数が集約できれば、このように良好な施設整備も行っていき、また、他の子育て支援の充実も図ることができると考えております。	-
161	公立存続	公立存続	公立幼稚園・公立保育所をなくさないでください。 (市民の選択肢を残すため、小学校区の地域で子どもが育つ環境を守るため、障害のある子どものため、地域とのつながりは子どもの成長にとって大切なことなので、)	64	地元の小学校へ一緒に通うという点では、小学校区ごとに施設が存在する状況が理想的かもしれませんが、しかしながら、今後ますます少子化が進むことが予想される中、そのような施設配置は1施設当たりの子どもの数が少なくなり、また、効率的な運営も難しくなります。市立施設の集約を行う以上、これまでどおり小学校との連携を高い水準で維持するためには、例えば進学する小学校ごとに園児の訪問先や行事の連携先を設定するなど、さらなる工夫が必要になると考えます。集約化の影響が小学校との連携に悪い影響を与えることがないように、連携方法について十分に検討してまいります。市立施設の現状の施設数を維持していくことは、施設の状況、入所率等を勘案すると困難と考えていますが、公立の良さは民間移管後も継承していくよう、民間移管基本方針の策定時に検討してまいります。また、障がいのあるお子様や配慮の必要なお子様にとって最善の教育・保育を行うには何が重要かという視点から、市立認定こども園での取組みや私立施設での取組みへの支援について検討してまいります。	-
162	公立存続	公立存続	新たな取組みも大切だが、必要だと心から願う思いを壊さないでほしい。認定こども園として就学前の児童を保育してもらったことありがたいが、入れる子どもたちの人数が限られている。また、運営面や少子化等で公立を無くすのは違う。私立へ行くとなると、金銭面で厳しい。将来の子どもやその家族に安心を与えてほしい。	1	今後、市の子ども人口が減少していく見込みのなか、従来の規模で市立施設を維持するのではなく、民間の活力を活かしながら、市立施設を集約化していくことで、従来までの市立施設で行っていたサービスに加え、一時預かりや時間外保育、幼稚園部分の3年保育などといったサービスの拡充も行っていきます。市立施設の良好な施設数の集約後も、また民間移管先へも継承するよう努めてまいります。また、私立へ通うこととなった場合の金銭的な負担の軽減については、市立保育所からの民間移管先で生じる利用者負担の増額分については、原則として市が負担する方向で検討してまいります。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
163	公立存続	公立存続	公立施設は建物自体が市民の財産であり、老朽化や運営費削減を理由に民間移管、売却をすることは反対。未来の子ども達のために市立のまま建替えるべきである。	82	公立施設の維持管理は、市民の皆様からお預かりしている税金で行うこととなります。市立施設の再編とこれに伴う民間移管により生み出す財源を用いて、これまで手を付けてこれなかった他の子育て支援施策の充実を図ることで、今後、守口市がさらに子育てしやすい街になるよう努めてまいりたいと思います。	-
164	公立存続	公立存続	公立の幼稚園・保育所をすべて廃園し、認定こども園にすることに反対である。また、すぐに廃園にするのではなく、公立幼稚園、公立保育所、私立幼稚園、認定こども園としてそれぞれが取組み、長期的な目標で調整してほしい。利用したい親の気持ちを無視したやり方で、いきなり公立幼稚園や公立保育所をつぶしたり、安易な認定こども園化するのはやめてほしい。	2	本市ではすべての就学前の子どもが等しく幼児教育を受けられることを目指しております。幼稚園の入所率や保育ニーズの高まりを勘案し、幼稚園、保育所のそれぞれの機能の良いところを合わせ持つ施設として認定こども園を整備することで、集団教育の確保、利用料金の公民格差の是正による利用者の選択肢の拡大、質の高い教育・保育の提供、子育て支援の充実が図られることを目的としております。市立認定こども園の運営の具体的な実施方法は、幼稚園教諭や保育士を加えて認定こども園のあり方を検討している就学前教育・保育研究プロジェクトチーム(PT)での検討や他市の事例も参考に、運営のあり方を決めていきたいと考えています。	-
165	公立存続	公立存続	八雲小学校と下島小学校が合併するまで、耐震工事をしているやくも幼稚園を無くさないでほしい。また、いきなり幼稚園と保育所を一緒にするのではなく、まず1つ認定こども園を開園し、うまく機能するか運営してみるのが先ではないか。それから、閉園でも遅くはない。やくも幼稚園を調整園として残してほしい。	1	現状の施設数を維持していくことは、施設の状況、入所率等を勘案すると困難と考えていることから、やくも幼稚園は平成29年度末で閉園する予定です。中部エリアでは、現在の外島保育所を平成29年度から当分の間、暫定園という形で認定こども園に移行する予定です。現在、認定こども園の準備を行っているところですので、ご理解くださいますようお願いいたします。	-
166	公立存続	公立の選択肢	それぞれの家庭の事情にあわせ、公立か私立かを選ぶことができるよう、選択肢を残してください。	3	公立施設におきましては、各エリアに1か所ずつ計3か所設置いたしますので、公私の選択肢は残ります。しかしながら、集約化後は従来と同じ規模の定員設定はできませんので、私立認定こども園や私立保育所、私立幼稚園等の施設も選択肢としてお考えいただきたいと考えております。	-
167	公立存続	公立保育所の選択肢	公立保育所をすべて認定こども園にするのではなく、保育所を残して保護者が選択できるようにするべきである。	1	市が設置する認定こども園には、0歳児から就学前までの各年齢の保育枠を設ける予定です。したがって、実質的に保育所機能はそのまま残ります。また、認定こども園になりますと、3歳以上の児童には教育時間が設定され、幼稚園のいいところも取り入れた幼児教育をご提供することになりますので、ご理解のほどお願いいたします。	-
168	公立存続	保育所	働くお母さんや子どものことを第一に考え、今までの保育所を建て替えたり、修理したりして残してほしい。近くに公立保育所がなくなると、安心して働けなくなる。(大宮保育所を残してほしい。)	9	現状の施設数を維持していくことは、児童数の推移、施設の状況、入所率等を勘案すると困難と考えています。平成29年度以降、私立幼稚園から認定こども園に移行する施設が増加する見込みであることから、大宮保育所については、当初計画を変更し、閉園時期を1年間延伸し、平成30年3月末といたしました。	-
169	公立存続	保育所	公立保育所は人数は少ないが、のびのびと子どもが過ごせて、障がいのある子どもにも周りがあたたかく接してくれたり、一緒に遊んだり、教えてくれたりするので、公立保育所をもっと残してほしい。	1	認定こども園になっても、今までの公立の良さは残しながら、通園する全ての子どもたちの教育・保育を行っていきたくて考えています。わかさわかすき園からの受入れに際して療育の継続といった観点から必要な対応をしたいと考えています。このような市立施設での取組みを広く私立園とともに取り組めるよう検討していきたいと考えています。また、私立園においては障がいのあるお子さんの保育に力を入れている園も多くあり、そのような施設に対しては市は積極的に支援していきたいと考えています。	-
170	公立存続	保育所	職員を採用して、公立保育所の整備も行ってください。市立の保育所を希望しているの市の都合でなくさないでください。	3	現状の施設数を維持していくことは、児童数の推移、施設の状況等を勘案すると困難と考えています。平成29年度以降、私立幼稚園から認定こども園に移行する施設が増加することから、市立保育所については、平成28年度以降市立認定こども園への移行を図る園を除き、閉園又は民間移管の時期を平成30年3月末としております。就労のため保育が必要な方は今後は、私立認定こども園や私立保育所、小規模保育施設も選択肢としてお考えいただけますようお願いいたします。	-
171	公立存続	保育サービスの充実	病児保育や一時保育、延長保育など公立だからその取組みをもっと取り入れ保育サービスを充実し、公立幼稚園・公立保育所を残してほしい。	1	病児保育や延長保育については私立認定こども園や私立保育所で既に実施しており、市立保育所では実施できておりませんが、箇所数を集約化し、認定こども園とすることで、体制が整った段階でなるべく早期に実施していく考えです。市立施設の現状の施設数を維持していくことは、児童数の推移、施設の状況等を勘案すると困難と考えています。平成29年度以降、私立幼稚園から認定こども園に移行する施設が増加することから、市立保育所については、平成28年度以降市立認定こども園への移行を図る園を除き、閉園又は民間移管の時期を平成30年3月末としております。就労のため保育が必要な方は今後は、私立認定こども園や私立保育所、小規模保育施設も選択肢としてお考えいただけますようお願いいたします。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
172	公立存続	幼稚園	公立幼稚園の利用者は減っているが、3年保育や延長保育の実施などによりのびのびとした教育を実施する公立幼稚園を存続して欲しい。 公立幼稚園を閉園することを前提で再編計画を進めることに反対で、立地の良さや地域活動の拠点になりうる地域とのつながり、質の高い教諭による教育をする今ある公立幼稚園をつぶさないでほしい。	11	16か所の公立施設を維持したまま、3年保育や一時預かりなどのサービスを実施していくことが難しいため、3園の市立認定こども園に集約化しうえて延長保育は認定こども園への移行時から、3年保育は平成30年度から行っていく予定です。 地域とのつながりや質の高い教諭・保育士による教育・保育は、認定こども園になった後も継承していきたいと考えています。	-
173	公立存続	幼稚園	市にはもっと公立幼稚園に理念と誇りを持って運営して欲しい。公立幼稚園の保護者は費用が安いからと妥協して選んだわけではなく、公立幼稚園に魅力を感じ選んでいる。 公立幼稚園の入園希望者が少ないということばかりに目を向けるのではなく、公立幼稚園を選びたいという人がいるということを知ってほしい。	1	市立幼稚園における教育理念については市としても誇りをもっています。認定こども園に集約しても、1号認定子どもの利用枠は確保するとともに、2号認定のお子さんに対しても、これまで市立幼稚園で行ってきた幼児教育のエッセンスを伝える教育時間を設定しますので、市立幼稚園の教育理念は認定こども園で引き継ぎます。市立幼稚園の魅力や認定こども園にこられるたくさんの保護者やお子様を知ってもらいたいと考えています。	-
174	公立存続	幼稚園	八雲小学校と下島小学校が合併するまで、やくも幼稚園を残してほしい。今、上の子が公立幼稚園に通っており、下の子も同じところに通えると思っていたが、通えなくなる。公立幼稚園は発達に問題をかかえている子など、どんな子でも問題なく通え、先生も対応してくれている。認定こども園では子どもの人数も多いので、きちんと対応できないと思う。公立幼稚園をなくさないでほしい。	1	公立施設におきましては、各エリアに1か所ずつ計3か所設置いたしますので、公私の選択肢は残りますが、集約化後は従来と同じ規模の定員設定はできませんので、私立認定こども園や私立幼稚園も選択肢としてお考えいただきたいと考えております。なお、市立認定こども園では、わかさ・わかさぎ園からの受入れに際して療育の継続といった観点から必要な対応をしっかりと考えています。また、市立施設での取組みを広く私立園もともに取り組みするよう検討していきたいと考えています。現在、私立園においては障がいのあるお子さんの保育に力を入れている園もあり、そのような施設に対しては積極的に支援していきたいと考えています。なお、市立幼稚園では、現状では園児数が減少しておりますが、本来は多くの児童と一緒に遊び、学び、生活することで学力や他者との関係、集団生活のルールなどを理解し実践する力を培う場ですので、2号、3号認定のお子さんがある児童数の多い認定こども園になっても、児童への対応は維持していきます。	-
175	公立存続	幼稚園	やくも幼稚園、とうこう幼稚園は残すこと。3年保育や民間並みのサービスが実施できる体制を確保すること。	1	16か所の公立施設を維持したまま、3年保育や一時預かりなどのサービスを実施していくことが難しいため、3園の市立認定こども園に集約化しうえて延長保育は認定こども園への移行時から、3年保育は平成30年度から行っていく予定です。	-
176	公立存続	幼稚園	子どもたちが自主的に遊んだり、考えたりし、行動する公立幼稚園は理想的であり、今後入ろうと考えている在園児の弟妹のためにも、公立幼稚園をなくさないでほしい。 (やくも幼稚園に上の子が通っており、まだ未就学の下の子もいる状態である。)	2	市立幼稚園における教育理念については市としても誇りをもっています。認定こども園に集約しても、1号認定子どもの利用枠は確保するとともに、2号認定のお子さんに対しても、これまで市立幼稚園で行ってきた幼児教育のエッセンスを伝える教育時間を設定しますので、市立幼稚園の教育理念は認定こども園で引き継ぎます。市立施設におきましては、各エリアに1か所ずつ計3か所設置いたしますので、公私の選択肢は残ります。しかしながら、集約化後は従来と同じ規模の定員設定はできませんので、私立認定こども園や私立幼稚園等の施設も選択肢としてお考えいただきたいと考えております。	-
177	公立存続	私学と切磋琢磨する公立幼稚園に	公立幼稚園の教育理念への共感や、小学校に隣接しているため交流を通じて身近に小学校を感じることができる点、地域に開かれた幼稚園といった点から選ばれている公立幼稚園は、私立幼稚園と同じ条件のもとで切磋琢磨していくべきである。私立幼稚園の財政運営を支援するのなら、補助を増やしてはどうか。	1	市立幼稚園における教育理念については市としても誇りをもっています。認定こども園に集約しても、1号認定子どもの利用枠は確保するとともに、2号認定のお子さんに対しても、これまで市立幼稚園で行ってきた幼児教育のエッセンスを伝える教育時間を設定しますので、市立幼稚園の教育理念は認定こども園で引き継ぎます。市立幼稚園の魅力や認定こども園にこられるたくさんの保護者やお子様を知ってもらいたいと考えています。市立認定こども園へは小学校との隣接という環境を最大限活かして小学校への円滑な接続のための取組みに力を入れていきます。箇所数が減ることのデメリットについて、例えば進学先の小学校ごとに交流事業が組めないか、進学先の小学校ごとに、小学校の先生に園に来ていただききめ細かな情報共有等が行えないかなど、できる限りの対応について検討してまいります。また今後、公立・私立の垣根を越えて未来の子ども達のためにどのような教育・保育が必要なのかを検討し、その実施に積極的に取り組んでいただける私立園に対しては、財政支援を検討していきたいと考えています。	-
178	公立存続	幼稚園の認定こども園化	やくも幼稚園は耐震工済みで、綺麗なので、子ども達が安心して通える環境です。今後1～2年での老朽化は考えにくく、閉園し、設備を遊ばせておくのはもったいない。閉園ではなく認定こども園にしてほしい。問題になる給食室は、併設する八雲小学校を活用し、解決できる。今後、幼小一貫を考えるとあれば、やくも幼稚園を閉園することはマイナスである。	3	ご指摘のやくも幼稚園ですが、隣接する八雲小学校の調理室での合同調理の方法も検討しました。その結果、食材を切る大きさが小学生用と就学前児童用とは異なり、下準備のために現在より多くのスペースや時間を要すること、小学生の献立内容との違いやアレルギー対応、小学校から幼稚園へ給食の運搬時の課題などがありました。このような事情から、やくも幼稚園を認定こども園とするには、現在の園庭を削って調理室を新設する必要があり、そうすると現在の園庭がさらに狭くなるのでやくも幼稚園の認定こども園移行を断念せざるを得ませんでした。そこで、中部エリアの認定こども園の市立認定こども園は暫定的に、園舎が新耐震基準で建築されている外島保育所を使用することといたしました。	-
179	公立存続	幼稚園の認定こども園化	1クラス人数が20人を超えている公立幼稚園を廃園する理由がわかりません。認定こども園に移行するべきだと思う。	1	再編整備計画では、守口市の教育・保育提供区域を3つに分割し、今後の児童数の推計や私立施設の認定こども園への移行予定と利用定員の設定状況等を踏まえ、市立施設はそれぞれの区域ごとに1施設の認定こども園とすることとしています。幼稚園を認定こども園に移行することとなる、保育コースの0歳から2歳のいわゆる3号認定のお子様も預かりすることとなりますが、その際、調理室を新たに設けなければならず、0歳児では調乳設備や沐浴設備の整備を行う必要があります。また、近接の民間施設との距離等を勘案した結果、再編整備計画に記載のとおり認定こども園を設置することとなりました。	-
180	公立存続	障がい	私立の保育所や幼稚園では、障がいを理由に入所できない場合もあり、子どもたちが平等に教育を受けられる市立の幼稚園や保育所を残してほしい。	1	私立園においては障がいのあるお子さんの保育に力を入れている園も多くあり、そのような施設に対しては市は積極的に支援していきたいと考えています。障がい児の受入れの拡充など市立施設の集約化に伴う今後の課題に対して、民間事業者による対応が円滑に進むよう、財政支援も含め必要な環境整備にも努めていきます。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
181	その他	料金	値上げはやめてほしい。	1	1号人認定子どもに係る保育料については、現在の設定は平成27年度から平成31年度までの5年間の経過措置ですので、現時点では平成32年度から最高額で3歳児で月額22,000円、4歳児及び5歳児で同じく20,000円となる予定です。なお、2号認定子ども及び2号認定子どもに係る保育料については当面変更の予定はありません。	-
182	その他	教育費の個人負担	認定こども園になるにあたって、どれくらい個人の教育費の負担が増えるのか。	1	認定こども園の保育料は、市立施設も私立施設も共通ですので、現行の保育料が上がることはありません。市立認定こども園では、1号認定子どもの場合には、従来の保育所と同様の給食を実施しますので、月額4,600円程度の給食費をいただくことになります。また、一時預かり(1号子どもの延長保育)をご利用の場合は、1日4時間までは400円、4時間を超える場合は500円の料金をいただきます。その他は基本的にこれまでとおりの雑費がかかる程度です。私立認定こども園の場合は、1号認定子どもの給食代などの実費のほか、園により額は異なりますが、1号、2号、3号の区別なく、制服代や施設費、質の高い教育・保育のための上乗せ徴収金などが係る場合があります。また、一時預かり利用の場合の利用料も別途あります。詳しくは各園にお問い合わせいただきますようお願いいたします。	-
183	その他	コスト	民間はコストが低いから良いとあるが、人間を育てていくのに、コストを重視するのはおかしい。	1	施設を集約化することでまかなえる費用を、他の子育て支援施策に充て、未来の子ども達にとって良い環境で教育・保育を受けることができるよう努めていきたいと考えています。	-
184	その他	公立施設の運営費	公立施設では私立にはない保護者への負担があるにも関わらず公立保育所の運営費がかさむことに納得がいかない。	1	保護者の皆様には、市立施設の運営に当たりましてなにかとご協力をいただきありがとうございます。ただ、市立施設の運営経費の約9割は人件費であり、私立施設の運営費との差は主としてここから生じるものです。なにぞご理解のほどよろしくお願いたします。	-
185	その他	計画実施の経費	再編計画を実施するためには、どのくらいの事業費がかかるのか。	1	今回の再編整備計画については、今後の方向性を示しているものですので、具体的な事業費などは今後の予算の編成過程で決定されますので、決定次第お知らせいたします。	-
186	その他	人件費	人件費がかかりすぎるから集約化するというのは、市の責任転嫁だ。正規職員の採用を長期間行ってこなかったために平均年齢があがったことが原因だ。	83	人件費が大きくなっている理由のひとつはご指摘のとおり職員の平均年齢の高さだと考えています。今後は市立施設を集約化していくなかで経験豊かなベテランと市立施設の教育・保育を受け継いでいく若い職員のバランスが取れた適切な人員確保に努めてまいります。	-
187	その他	公費の使途	少子化で運営が厳しいのは、公立も私立も同じである。公立は園児数にあった職員の数にすべきで、延長、職員の仕事内容を考え直し配置すべきである。市は将来に向かい、公私の区別なく公平に財源を使うべきである。子ども一人一人に心を配られるように、保育や子育てにもっと公費を使って欲しい。高齢者対策より子育て政策にも予算をもっと割くべきである。	3	今後の子どもの人数の推計に応じて、再編整備計画をもとに、施設を集約化を行っていく予定です。公立に通う子ども、私立に通う子どもの分け隔てなく子ども一人一人が笑顔になれるよう、様々な子育て支援施策を行っていききたいと思います。	-
188	その他	サービスの向上に向けた公費投入のあり方	公立では、なぜ住民ニーズに即したサービスが提供できなかったのか。私立と公立が切磋琢磨して、より良い教育・保育を充実していくべきで、そのためには私立に対して、サービスの充実のための公費の投入の増額を図るべきである。	1	市立施設では、さまざまな問題から保育所における延長保育や幼稚園における3年保育などの私立並のサービスが実施できませんでしたが、市立施設を集約化で生じる財源を使用して、今後私立並のサービスと私立施設では担うことが困難な地域の要支援家庭などへのサポートを実施していきたいと考えています。今後は、私立園におけるサービス充実や障がい児の受入れ拡大に必要な体制整備のための助成の充実を図るとともに、全ての子育て家庭への支援を行うための施策を考えていきたいと考えています。	-
189	その他	公費削減	公費を削減するためということだが、保護者にとって幼稚園や保育所は必要な場所であり、減らされると困る。もっと他のことで公費の削減を図ってほしい。	1	現状の市立施設の箇所数を維持していくことは、施設の状況、入所率等を勘案すると困難と考えていますが、必要な就学前教育・保育の供給量は市立・私立あわせて確保していく考えです。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
190	その他	市立施設の改修費用	市立施設の改修費用は、建築した時から改修も含め維持管理を行う費用を用意するのが筋ではないか。市の財源として国等の負担額である特定財源だけではなく、交付税措置も含めて考えているのか。	1		-
191	その他	市立施設の補修・建替え	市立施設の改修や建替えは、なぜ耐用年数を考慮して計画を立てなかったのか。	1	市立施設の維持管理経費は、市が計画的に確保していくことが必要であると考えます。特定財源の確保も含め、将来にわたって施設を良好な状態に保つための財源について検討してまいります。	-
192	その他	早朝薄暮の職員体勢	早朝薄暮の延長保育の利用について、昔に比べ、障がい児の利用が増えているのに、体勢は変わっていない。これを機会に早朝薄暮の保育体勢を手厚くしてほしい。	1	早朝薄暮に限らず、どの時間帯においても必要な保育体制を確保し、子どもが笑顔で過ごせ保護者の皆様に安心していただけるような園運営を行って行きたいと思っています。	-
193	その他	公立の柔軟性	計画に私立施設には柔軟性があると書かれているが、公立施設にも柔軟性を持たせてほしい。もっと早くから私立に負けない保育サービスを実施していれば、入園希望が増えたのではないかと。	1	今後は公立施設を3園の認定こども園に集約化し、保護者のニーズに即したサービスを実施していきたいと考えています。	-
194	その他	延長保育	公立は延長保育を含む保護者ニーズに対応するべきだ。	82	市立施設の延長保育に関しましては、認定こども園への移行後、体制が整い次第できるだけ早期に実施してまいります。なお、1号認定子どもにかかる一時預かり(延長保育)は、認定こども園への移行にあわせて実施いたします。	-
195	その他	市政	市は公的保育を守り、子どものすこやかな発達と成長を守る責任がある。	1	3園に集約化した後も、公立施設に通う児童はもちろん、私立園に通う児童についてもすこやかな発達と成長を守る責任があると考えています。	-
196	その他	市政	保育所をなくさないでほしいという署名がたくさん届いている。市民の声が届く市政になってほしい。 市の計画は一方通行である。もっと市民目線で考えるべきである。市民が利用しやすい、喜ばれるような市政を望む。	2	署名や今回のパブリックコメントを通していただいた意見を斟酌して、実現が可能なことについては基本計画を進めていくなかで実施していきたいと考えています。また、市立施設の民間移管に当たっては、民間移管基本方針の決定までにパブリックコメントを実施することや、民間移管先法人の選定を行う審議機関に保護者のご代表に参画していただくなど、市民に開かれた透明性の高い方法を取って行きたいと考えています。	-
197	その他	市政	高齢者に力を入れているのは分かるが、子どもにも力を入れてくれないと子育てしにくい市になる。	1	守口市は赤ちゃんからお年寄りまで市民の皆様にとって住みやすい街づくりを目指しています。	-
198	その他	療育施設の整備	他市にもあるような、療育のみを受けられる施設を市内に設置し、加配の保育士と保護者が一緒に通えるようにしてほしい。	1	認定こども園等の施設において、特別な配慮の必要な子どもが療育を意識した教育・保育を受けられることができるような仕組みを考えていきたいと思っています。具体的な施策については、今後お示しさせていただきます。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
199	その他	まちづくり	箇所数や職員を減らす前に、いかに子どもを増やすかということに目を向け、魅力的な園をつくるなど、他の市からでも引っ越してきたいと思えるような住みやすくして自慢できる市になってください。	6	今後、公立施設を3園の認定こども園に集約することで賄われた費用で様々な子育て支援施策を実施することにより、守口市が住みやすくして自慢できる市になるよう取り組んでいきたいと考えています。	-
200	その他	市立幼稚園の入園児減少の要因	市立幼稚園の入園児の減少の背景を分析する必要がある。ワーキングプアの解決や子育てしやすい環境を作ることが必要。3年保育や時間延長等の保護者のニーズに手を打ってこなかったのは市の責任ではないのか。	1	保護者からのニーズの高い3年保育や一時預かりを実施できていないことが、公立幼稚園の入園児の減少の理由の一つであるのと考えています。また、私立幼稚園などで展開されている特色ある教育を選択する保護者も多いと考えます。公立施設を3園の認定こども園に集約化し、3年保育や一時預かりを実施することで、保護者のニーズに応えていき、施設を集約して生じる財源を活用し様々な子育て支援施策を実施していきたいと考えております。	-
201	その他	民間事業者の誘致	共働き家庭は増加傾向にあると思います。平成30年度に再編整備が落ち着いたら、地域型保育事業も含めて民間事業者の誘致が必要になるのではないかと。	1	本市では、市立施設の認定こども園への再編整備と同時に市立施設の民間移管も必要と考えております。地域型保育事業につきましても、市条例に適合する施設であれば、将来的な子どもの人数減少への対応は施設の自己責任であるという前提で認可していくことは検討しています。	-
202	その他	園庭(あおぞら保育所)	あおぞら保育所の園庭が狭いので、隣の空き地も整備して園庭にしてほしい。	6	今後は関係部署や地域との調整で隣の空き地の有効活用について検討していきます。	-
203	その他	私立認定こども園の募集	私立の認定こども園へ、平成28年4月に年中になるクラスを見学に行ったが、29名中幼稚園枠を利用しているのは4～5名であり、今回の募集も2～3名だけである。既に願書も配っており、募集人数の何倍にもなる人数が応募してきており、試験となるため入れない。他の園では、募集を行わず、在園児の兄弟を優先させて入れている。これらの私立の認定こども園に入園できない現実をどうお考えか。	1	全ての私立認定こども園が既に定員を満たしている状況ではありません。また、市では今年度から、1号認定子どもの料金体系を見直し、公立・私立の料金を同額としています。見学に行かれた私立園以外の施設も検討対象としてはいかがでしょうか。	-
204	その他	保育所の募集	私立保育所と、市立保育所は待機児童がいるため、入れないと言われた。5年後の子どものための再編計画と言うが、今から5年間育てていく子どものことは見捨てるのか。	1	現在、私立保育所では定員以上の児童を受け入れていただいている園が大部分ですが、園によっては入所できる場合もあります。また、0歳から2歳までのお子様でしたら小規模保育事業所に通っていらっしゃるケースもございます。市では、保育の必要なお子様の受入れ先の確保には全力を尽くしますので、よろしくご理解のほどお願いいたします。	-
205	その他	議会	民間移管は少なくとも平成32年度以降にすること、園児の募集停止は行わないことなど13項目について議会に求める。	5	市では、再編整備計画にあるとおり、平成30年度に市立認定こども園を3園とする予定です。集約化に際しての園児募集については、在園児の動向をみたくうえで、募集を行って行く考えです。	-
206	その他	市立施設の耐震化	市立施設の耐震化は年次計画を策定すれば、一時に集中する多額の財政負担は避けられはす。保育所費の減少分を基金に積み立ててこなかったのはなぜか。保護者のニーズを把握する調査を行ってきたのではないのか。その実現の道筋が明記されていないのはなぜか。	1	市立施設の維持管理経費は、今後は市が計画的に確保していくことが必要であると考えます。特定財源の確保も含め、将来にわたって施設を良好な状態に保つための財源について検討してまいります。保護者からの希望の高い3年保育や私立園並の時間外保育については、公立施設を3園に集約化した際に実施していきたいと考えています。	-
207	その他	市立施設の耐震化	保育所費や幼稚園費が削減されてきたのに、なぜ耐震化ができなかったのか。	1	市ではこれまで災害時の避難所となる小中学校の屋内運動場、続いて校舎へと耐震化に取り組んでまいりましたが、市立施設の耐震化全てを同時に実施することは困難な状況でした。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
208	その他	市立施設の役割	市立施設の役割とは何か不明である。	1	基本計画のなかの「5. 市立施設の役割」に記載のある、特別な支援が必要な子どものセーフティネット、就学前教育の充実と小学校との円滑な接続のための取組み、休日保育などのニーズが限られているものの必要性の高いサービスの実施、年度途中からの保育の受入れ、認定こども園としての地域子育て支援、養育支援が必要な家庭へのサポートや子どもの障がいや発達の違いなどに関する子育て相談などの在宅子育て家庭への支援の充実などと考えています。	-
209	その他	市立施設の役割	「就学前教育の充実と小学校との円滑な接続のための取組み」は現行の幼稚園・保育所ではなぜできないのか。経済的に厳しい子どもたちのために市は財政投入しないのか。	1	市立施設を3園の認定こども園に集約化して行っていきたいと考えています。現在、保育料を収入に応じて金額を設定し徴収しています。その差額については、市が負担しています。これに加え、生活保護世帯など経済的に厳しい家庭に対して、実費負担の軽減のための助成制度について検討しています。	-
210	その他	市立施設の役割	「小学校での学習と生活に円滑に移行できるように努めます」とあるが、小学校と一体化したカリキュラムを考えるのか。各々の年齢に応じた課題を考えながら保育や教育を保育所・幼稚園で行ってきたのではないのか。	1	従来、各々の年齢に応じた保育や教育を各施設で行っており、今後についても教育・保育について大きく変更する必要があることは考えておりません。しかしながら、現在、幼稚園や保育所から小学校に進学するとき起きる小1プロブレムが社会的問題となっていることを踏まえて、小学校にスムーズに進学し、小学校での学習と生活になじめるよう小学校と連携しながら「小学校への接続期カリキュラム」の策定に取り組んでいきたいと考えています。	-
211	その他	市立施設の役割	「年度途中からの保育ニーズの受入れ」とありますが、なぜ今すぐにはできないのか。集約化の前でも当面保育士を配置すれば一定解消できるのではないのか。	1	現在、市でも保育士の確保については取り組んでいるところですが、保育士を確保することは難しい現状です。集約化に伴い保育士を集中的に配置することが可能となり、年度途中から増大する保育ニーズの受入れについても可能になると考えています。	-
212	その他	市立施設の役割	一時保育や子育て相談事業は、認定こども園への移行に際し義務づけられなければ取り組まないということか。ニーズがあれば認定こども園にならなくても実施すべきである。守口市次世代育成支援行動計画の進捗状況では「やや遅れている」という項目があるが、市として実施してきたのではないのか。不足分を充実していくことが大切である。	1	認定こども園になることで法律上義務づけられている地域での子育て支援にはいくつかのメニューがあり、施設に設置者が選択できる仕組みですが、市では休日保育や病児保育など必要性の高い保育サービスで、かつ民間施設では実施が困難なものを実施していくことで、子育て家庭のニーズに的確に応えることができるよう努めてまいりたいと考えています。	-
213	その他	市立施設の役割	子育て支援センターが、子どもの発達の遅れに不安を抱く保護者などの相談に応じてきたのではないのか。	1	子育て支援センターは子どもの発達の遅れに不安を抱く保護者だけでなく、子育てへの不安を抱く保護者などからの相談も担ってきました。今後も、子どもの発達や子育てへの不安について相談できる場として子育て支援センターを気軽に利用出来るよう努めていきたいと考えていますが、子育て支援のうち特に養育支援を要する家庭へのサポートについては子育て支援センター、市民保健センター、子育て支援課相談係などともに地域の市立認定こども園がその一端を担うことによって、重層的なサポート体制が構築でき、虐待などの深刻な事態が起きる前に、少しでも保護者や子どもたちの支えを増やしたいと考えています。	-
214	その他	民間の力	民間の力を最大限引き出すとしているが、これまで引き出してこなかったのか。	1	これまでも、平成14年から16までに民間移管を行い、民間の力を活用し待機児童の解消に努めてまいりました。また、現在、公立施設では実施していない時間外保育なども民間園では実施していただいております。	-
215	その他	保育所への継続通園	認定こども園の特徴として、「保護者の就労状況に変化が生じた場合でも同じ園にかよえること」をあげているが、現在でも弾力的運用で行っているのではないのか。なぜ、保育所ではできないのか。問題と考えるなら早急に対応すべきではないか。	1	現在、保育所に通う児童の保護者の就労状況に変化があった場合、求職期間等を除き、児童は原則退園となります。弾力的運用はあくまでも保育の必要性のあるお子様を施設や人員配置の基準を守りながら定員を超えてお預かりするもので、保育の必要性がなくなったご家庭のお子様をお預かりするものではありません。認定こども園では、ご質問のとおり、保護者の就労状況に関係なく同じ園に通わせることが可能です。子どもの環境の変化を少なくし、通い慣れた園に継続して通園できるよう取り組んでいきたいと思っております。	-
216	その他	保護者の選択肢	幼稚園、保育所に子どもを通わせたいという保護者がいる以上、幼稚園、保育所、認定こども園という3つの施設で切磋琢磨して、より良い幼児教育・保育を目指すべきである。	1	公立施設は、幼稚園と保育所を統合して認定こども園に集約する考えです。今後は、公立認定こども園に通園する児童に対して、公立幼稚園で培ってきた教育、公立保育所で培ってきた保育を行って行きたいと考えています。	-

守口市の市立幼稚園及び市立保育所に係る再編整備に関する基本怪計画にかかるパブリックコメントの実施結果

NO.	大まかな分類	細かな分類	詳細	件数	市の考え	修正内容
217	その他	検討体制	子どもを取り巻く状況を改善していくのに、こども部だけでは不十分である。健康福祉部や他部局と連携して解決できないか、大阪府や国に対してどのような要望をしていくのか、保護者や市民と一緒に考えて解決していくことが求められている。守口市全体としての街づくりとして取り組んでいかなければならないと思う。	1	子どもを取り巻く環境の問題については、こども部だけではなく、守口市が一丸となって取り組んでいく必要があると考えています。そのなかで、大阪府や国に対して要望していく必要や、市民の皆様と一緒に考えていかなければいけない問題もあると考えています。	-
218	その他	推進体制	現在の人員体制で、幼稚園教諭や保育士が加わった検討準備態勢を構築できるのか。検討は保育時間以外に行うのか。その体制や専門家の準備はできているのか。	1	現在、市では、市立幼稚園の園長、市立保育所の所長等からなるプロジェクト・チームを発足し、認定こども園をスタートするための準備を行っています。現在行っている検討は、幼稚園の園児が帰宅した後か、通常の業務終了後に行っております。今後、必要に応じて専門家の意見をお聞きするなど、改めて先行市町村での実情等を確認する機会を持つことも考えております。	-
219	その他	これまでの総括	まず、これまで市が行ってきた総括を行うべきである。それに基づき改善策を講じるのが筋である。なぜ、守口市が保育所や幼稚園を運営してきたのか明らかにすべきである。	1	守口市では、生きる力を育み学びに向かう力を育てる幼児教育を実施し保護者の就労などで保育の必要がある乳幼児を安全で良好な環境において保育するために、市立幼稚園、市立保育所を運営してきました。その結果、市立施設の教育・保育方針には市民の皆さま方から一定の評価もいただいております。施設数の集約化が必要となっても、市立施設の良さは継承していく必要があると考えています。	-
220	その他	その他	日本の将来を担う子どもたちの夢・希望が叶えられるよう各方面の条件整備を求め強く要望します。	1	公立施設の集約化をはじめ、未来の子ども達が笑顔になり、保護者が安心できるよう子育て支援施策を推進してまいります。	-
221	その他	その他	子どもが困るような、子どもがストレスのたまるようなことをしないでください。	1	今回の計画を推進していくなかで、できる限り在園児へのストレスはかからないよう配慮しつつ、未来の子ども達が笑顔で過ごせる守口市を目指していきたいと思っております。	-
222	その他	その他	安心して預けられる園にしてください。	1	現在ある市立幼稚園、保育所はもちろん、再編整備計画に伴い民間移管する園、認定こども園となる園も安心して預けることのできる園になるよう職員配置や教育・保育の質の維持向上に努めてまいります。	-
223	その他	その他	子どものけがや虐待など、民間移管に起因する問題があった場合、市は責任を取ること。	1	民間移管園かどうかを問わず、子どもへの虐待はあってはならないことです。市では、市立、私立問わず、指導監督を行っていきたくと考えています。	-
224	計画外	計画外	再編整備基本計画以外に関する質問	104	本計画以外へのご意見に対する回答は差し控させていただきます。	-

意見総数	1,760
------	-------